

第3章 資料編

1. 地域別懇談会結果

平成 2 3 年 度
地 域 別 懇 談 会 結 果

目次

1 懇談会の概要.....	1
2 地域別懇談会結果.....	3
(1) 久代小学校地域.....	4
(2) 加茂小学校地域.....	12
(3) 川西小学校地域.....	19
(4) 桜が丘小学校地域.....	29
(5) 川西北小学校地域.....	38
(6) 明峰小学校地域.....	45
(7) 多田小学校地域.....	56
(8) 多田東小学校地域.....	63
(9) 緑台・陽明小学校地域.....	71
(10) 清和台・清和台南小学校地域.....	81
(11) けやき坂小学校地域.....	92
(12) 東谷小学校地域.....	100
(13) 牧の台小学校地域.....	110
(14) 北陵小学校地域.....	118

1 懇談会の概要

(1) 目的

現在市が検討を進めている地域分権制度の足掛かりとするため、また、平成 25 年度から始まる「第 5 次総合計画」における地域別構想を策定するため、地域別懇談会を実施しました。

(2) 運営方法

開催時間は 2 時間程度とし、場所は各地域の自治会館や公民館等で実施しました。

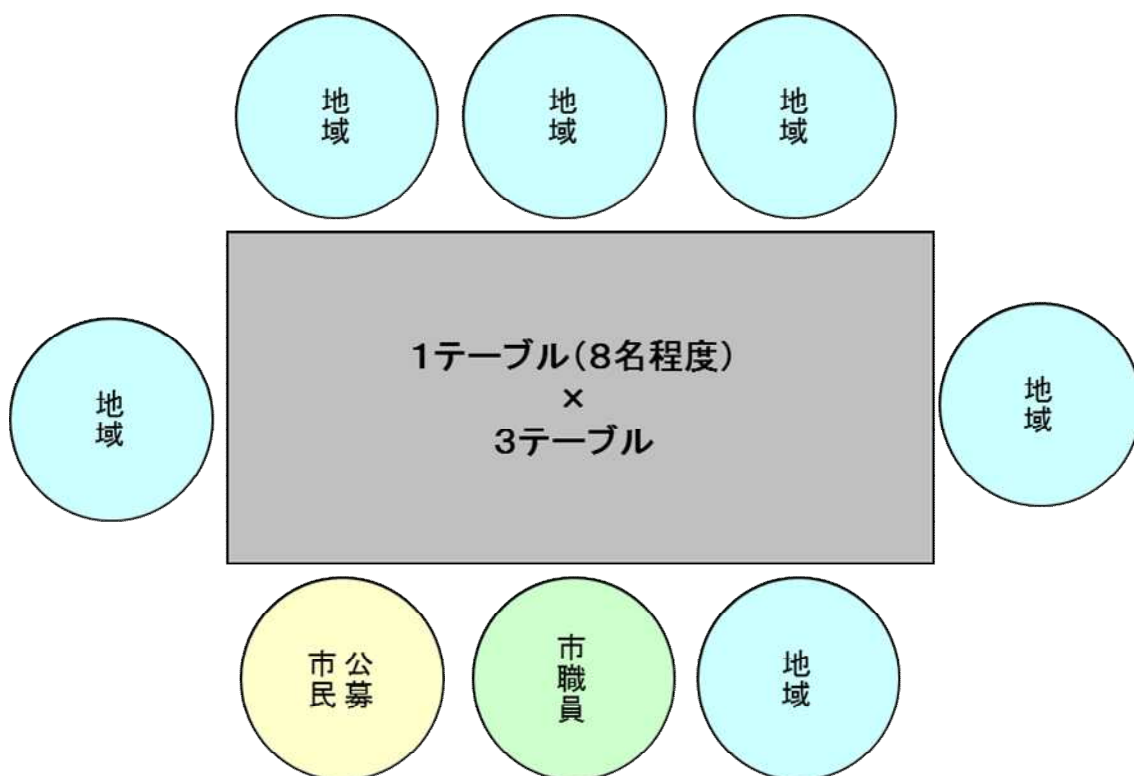
参加者は、自治会、コミュニティ推進（連絡）協議会、地区福祉委員会、各種団体の代表者、公募の市民等、20 名程度が 3 つの班に分かれて議論を行いました（図 1）。

(3) プログラム

地域別懇談会は、全 3 回のプログラムで実施しました。

「地域の課題」「地域の資源」「地域のありたい姿」「具体的な取り組み」「地域のキャッチフレーズ」について意見交換を行い、各回の懇談会の最後に各班が発表を行いました。

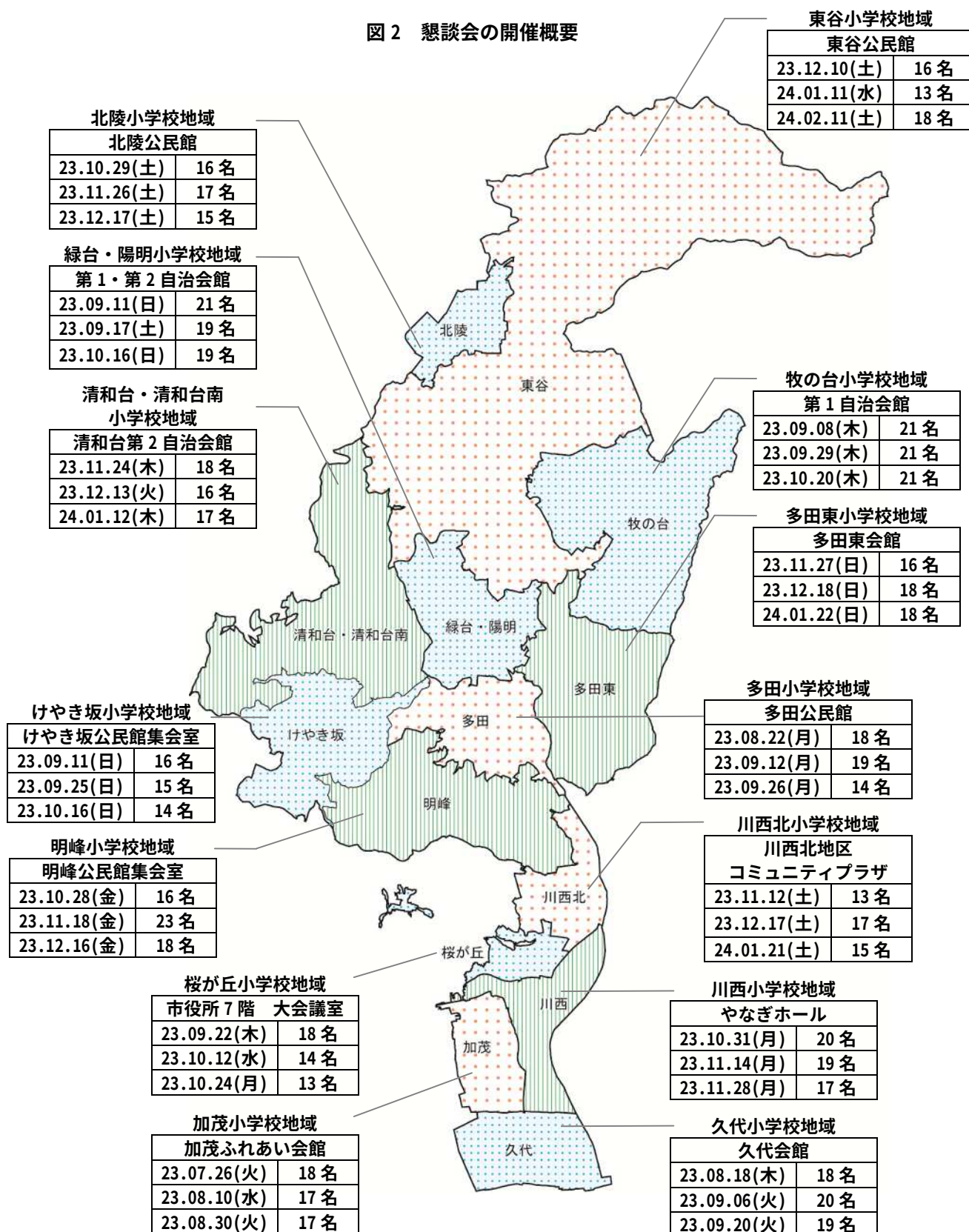
図 1 各班の構成員の例



(4) 開催概要

平成 23 年 7 月 26 日から平成 24 年 2 月 11 日までの間に開催しました。

図 2 懇談会の開催概要



2 地域別懇談会結果

懇談会の結果は、各班の意見を整理・統合しています。

久代小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A班 ☺（笑顔と輪）の町 ワッショイ久代

B班 甘いイチジク 心でつなぐ 住みよい久代

C班 心豊かに ふれ合う いちじくのまち！

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●特産品のいちじくや近郊農業

特産品のいちじくその他、軟弱野菜の生産地でもあり、地域内にはいちじく畑、野菜畑、農産物の直売所などがある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ いちじく（畑）
- ・ 軟弱野菜の生産地
- ・ 農産物の直売所がある

●春日神社などの歴史を伝える環境

春日神社をはじめ神社やお寺が多く、地域の歴史を学び継承する取り組みもある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 神社やお寺
- ・ 春日神社の緑（鎮守の森）
- ・ 春日会館の桜の石
- ・ 久代の歴史本の発行の取り組み

●自然の環境や美しい風景がある

地域には自然が多く残っており、また美しい風景を眺められる場所がたくさんある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ なげきの丘からの風景（素敵な風景が見える）
- ・ 南山公園からの夜景
- ・ 正愛病院への階段から見る風景
- ・ 下久代より上久代方向に見える夕焼け
- ・ 家から見える田んぼのある風景
- ・ 猪名川の風景
- ・ 下池（ため池）がある

- ・ コウモリが飛んでいる

●元気な人の活発な活動がある

地域には自然が多く残っており、また美しい風景を眺められる場所がたくさんある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域活動が活発
- ・ 諸団体の仲間意識が強い
- ・ 元気にあいさつできる子どもたち
- ・ 各自治会の盆踊り
- ・ 久代老人福祉センターにおける子どもと大人の交流会
- ・ 消防団が2つある（久代消防団、東久代消防団）
- ・ 自衛隊との親睦が深い

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空港による移転跡地
- ・ 空港が近い
- ・ 通勤通学に便利（JR 北伊丹駅がある）
- ・ 共同利用施設が多い
- ・ 消防の出張所があり安心
- ・ 猪名川の花火大会に歩いていける

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 - 子育て広場（民生委員、月１回） - 子ども見守り（学校安全協力委員） - 子守サポート（民生委員、毎月） - 水辺クラブ（久代小学校） - 本の読み聞かせ（ボランティア、月２回） - ドッジボール大会 - 見守り（学校安全協力委員、月２回） - 落ち葉拾い等（PTA、月２回） - プール開放	祭り・伝統文化 - 盆踊り（自治会、年１回） - どんと祭り（コミュニティ、年１回） - 餅つき大会（自治会、年末） - 春日神社祭り - 春祭り（４月上旬） - 文化部カラオケ大会（11月） - お正月の寄せ植え教室（12月） - 自治会親睦会（自治会役員、年１回）	高齢者福祉 - 合同ふれあいサロン（福祉委員会、年１回） 1人暮らし高齢者グループ助成 - ふれあい広場（月４回） - 配食サービス（ボランティア、毎日） - 鳴子クラブ（毎月）	
地域の緑化 - 草花植栽（公園緑化事業） - 公園除草事業	地域活動		世代間交流 - カローリング大会（コミュニティ体育部会） - スロージョーグ大会（コミュニティ体育部会） - カラオケ大会（コミュニティ） - グラウンドゴルフ大会 - 市民体育祭（コミュニティ、年１回） - プール開放 - バーベキュー大会（自治会、年１回） - バス旅行（自治会、年１回） - ジョイフル餅つき - ウォーキング（自治会、週１回） - ハイキング（自治会、年１回） - 餅つき大会&昔の遊びを教える
地域の美化 - 草取り、大掃除（自治会） - クリーンアップ大作戦（年２回）	防犯・防災 - 自主防災訓練 - 夜間パトロール（コミュニティ安全部会、年１回） - 消防団活動（消防団員、月２回） - 年末夜警（12月下旬） - 同伴登校（月２回）		

3 地域の課題

●地域コミュニティの強化

地域活動への参加者や自治会会員が減少していることなど、地域のコミュニティ活動上の問題についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 様々な地域行事に参加する人が少なく、減少傾向にある
- ・ 各種活動の参加者が同じ人ばかりになる
- ・ 中年世代の地域活動が少ない
- ・ 自治会加入者が減少傾向
- ・ 久代小地区、上、下地区の交流がしにくい

●高齢者の暮らしの支援

日常の買い物や医療など、一人暮らしの高齢者の暮らしの支援を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 一人暮らしの高齢者が増えており、見守りや安否確認が問題
- ・ 買い物できるスーパーが近くに無いため、高齢者が買い物難民になる恐れがある
- ・ 地域活動に参加しにくい高齢者に対してどうするか

●安全性の向上

防犯上の不安や交通安全上の問題についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 街灯が少なく防犯上不安
- ・ 住宅地内の路上駐車が邪魔
- ・ 住宅地内の狭い道路でスピードを出す車が多くて怖い
- ・ 見通しが悪い交差点があるので標識を設置してほしい
- ・ 駐車場が少ない

●地域の安全確保

地域の防犯対策への不安に対する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域内に交番がなく不安を感じることがある
- ・ 空き家や空き地が増加し不用心
- ・ 子どもの下校時の見守り（ボランティアの確保が困難）
- ・ 青色パトロール運行が必要

●子育て環境の充実

子どもの遊び場や医療施設など、子育て環境の充実を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域で使えるグラウンドや体育館が少ない
- ・ 公園が不足している
- ・ 地域の子ども、幼児の遊び場が少ない
- ・ 公園に遊具が無い
- ・ 小児科が少ない

●環境衛生や騒音の改善

野良猫や野焼きなど環境衛生上の問題や工場、飛行機の騒音の問題についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 野良猫が多く糞害がある
- ・ 野焼きの苦情がある
- ・ 国管理の空き地が多く雑草も酷い
- ・ 東久代には工場の騒音問題などがある
- ・ 飛行機の騒音がひどい

●近郊農業の活性化

地域の産業である近郊農業の活性化を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 農産物直売所に来る人が固定化している
- ・ 地域の産業に対する支援が不足している
- ・ 田や畑が減り、倉庫が多くなっている

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 市と地域の協力体制が不足している
- ・ 南部地域については、もっと都市計画を推進する

4 地域のありたい姿

●自然の大切さを感じられる

豊かな自然を身近に感じながら、子どもたちが自然と親しみ、また自然を利用した産業で地域が潤うまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 静かで川のせせらぎが聞こえるまち
- ・ 自然が残り、魚やザリガニなど、子どもが安心して遊べる地域
- ・ 清水の湧く水路にカメやドジョウ、メダカが暮らす
- ・ 農業（イチジクの生産）が続けられる
- ・ 自然を利用した産業で雇用を増やす

●ふれあいがあり、ひとりぼっちにならない

世代間や近隣のふれあいや交流、相互理解があり、ひとりぼっちにならないまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 隣近所のつきあいが親密なまち
- ・ 学校と地域のつながりのあるまち
- ・ 世代間のあいさつや交流のある3世代が同居できる暮らし
- ・ 弱者（障がい者、引きこもり、高齢者など）へのいたわりのある社会
- ・ 高齢者が元気に参加できる地域
- ・ みんなで心から話し合い、理解し合い、助け合える暮らし

●だれもが住みやすい

若い世代から高齢者まで、誰もが安全で安心に、また便利に暮らせるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 老若男女が安全、安心に暮らせる地域
- ・ 働きやすい環境
- ・ 便利さ（交通など）と快適さ（住環境など）の両立
- ・ 若夫婦が地域に住める
- ・ 健康と金に困らない
- ・ 坂の上り下りが容易な暮らし

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●自然の大切さを感じられるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
自分が住んでいる家の周りから美しくしていく	●		
イチジク栽培を実体験したい人を募集して生産組合の役員で検討する		●	
ポイ捨てのないまちづくり、罰則をつくるなど			●
飛行場の移転、騒音レベルを低くする工夫など			●
移転跡地の緑化を進める		●	●
貸農園があれば農家の方と交流できる		●	●
都市計画との調和			●
住居地域と準工業地域を分けて水路を作る			●

●ふれあいがあり、ひとりぼっちにならないために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
各自で積極的にあいさつする	●		
高齢者の集いの場づくり		●	
地域別懇談会を何度かする（様々な年代で）		●	
自治会、コミュニティで「あいさつ運動」を実施する		●	
自治会、老人会、子ども会の交流（若者と老人の交流の場）		●	
高齢者との交流ボランティア活動を確立する		●	
地域みんなで助け合う（高齢者による子育て支援、若者層による高齢者支援）		●	
家庭内、リサイクル品交換ネットワークの保有		●	
子どもの才能を発表する場と応援する場があれば良い		●	●
グラウンド、体育館を増やす			●

●誰もが住みやすいために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人で できる	地域で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子ども達を地域の人達の手で見る		●	
久代児童センターの利用（子育て広場）		●	
安全に遊べる公園づくり		●	●
コンビニ、スーパーを誘致する		●	●
企業誘致			●
車いすで登れる坂道			●

加茂小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

- A班** 「みんなの笑顔・いにしえのロマン」加茂の宝に恵まれたホタルとびかうふるさと
- B班** 桃の花に包まれながら 皆の笑顔があふれる加茂小地域
- C班** ホタル飛びかう最明寺川と 古代のロマンただよう桃源の里で
子どもも大人も 元気よく躍動している姿が見えるまち

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●加茂遺跡をはじめとする文化的な資源

加茂遺跡や鴨神社などの古い歴史を有するものが点在している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 加茂遺跡。特に環ごう。加茂遺跡資料館
- ・ 宮川石器館
- ・ 歴史ある鴨神社の初詣での風景とその時間

●桃やイチジクなどの特産品生産

イチジクや桃などの特産品が生産されており、また農村的な風景も見られる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ イチジク、桃
- ・ 農村風景

●川や自然、ホタルなど

最明寺川ではホタルや野鳥が生息し、四季折々の豊かな風景を見せている。また、地域に桜や緑が点在する。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 最明寺川の清流や、夏の夜のホタル、野鳥の風景。朝の散歩での、カモやアヒルの動きが興味深い。カワセミもいる
- ・ 最明寺川沿いの梅がきれい
- ・ 桜並木がある
- ・ 鴨神社に緑が多い

●交通が充実、買い物環境もいい

高速道路や鉄道網へのアクセスが良いのが特徴である。また、百貨店等も行くのが不便でない範囲に立地している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高速道路の入り口、出口に近い
- ・ J R、阪急電鉄が便利。今はJ R福知山線に特急「こうのとり」が止まる
- ・ 自転車や歩きで、阪急百貨店や紀伊国屋に行ける

●その他

地域の祭りに学生が関わってくるのが良い。空港や五月山などが美しく見える場所がある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 盆踊り大会で、女子高生による太鼓演奏、キャンディ屋を出す
- ・ 第1公園(神社横)からみる風景(空港、五月山、能勢口)

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 ・ 信号機、横断歩道での子どもの見守り(安全委員) ・ 加茂ふれあい子ども教室 ・ 子ども会の活動 ・ 将棋教室の開催 ・ ジョイフルフレンドクラブ(料理教室等) ・ 野球、ソフトボールの試合(スポーツ少年団) ・ 地域懇親会(P.T.A、中学教師、自治会員、民生委員、保護者) ・ 青少年補導パトロール(月2回、補導委員) ・ プール開放 ・ 子ども花火大会(駐車場を借りて)	祭り・伝統文化 ・ 夏、秋祭り(鴨神社) ・ 盆踊り(年1回、連合) ・ どんと祭り ・ 加茂ふれあい音頭 ・ 加茂コミュニティ ・ 加茂小まつり開催 ・ 市民運動会 ・ 子どもみこし大会 ・ 餅つき大会	高齢者福祉 ・ 配食サービス(ボランティア委員) ・ ひろばサロン会(加茂第2自治会館) ・ なごみ会(65歳以上日中独居老人、2ヶ月に1度、加茂第3自治会館、ボランティア) ・ 餅つき大会でできたお餅を高齢者に配布(各自持参) ・ 落語会(年3回) ・ 1人暮らし高齢者と幼稚園児のサロン会(福祉委員会)
地域の緑化 ・ 自治会地区で、さくら等を植える活動(蔵本自治会) ・ 川西市G・F・G活動川西市花いっぱい大作戦登録(自治会)	地域活動	世代間交流 ・ 親睦バス旅行(4,5年に1回、自治会) ・ 山菜寿司の配食(年1回、自治会) ・ 自治会ウォーキング(年2回) ・ 自治会食事会
地域の美化 ・ 公園の掃除(毎週1回、各ボランティア班別) ・ まちの美化(7月、西の芝地区) ・ クリーンアップ作戦(6月、10月) ・ グラウンドの清掃(年2回、グラウンド利用者) ・ 大掃除(自治会) ・ 清流清掃(年5回) ・ 兵庫アドプト事業(県、市)登録(最明寺川のグループによる川清掃)	防犯・防災 ・ 防犯パトロール(年2回、8月12月) ・ 自主防災会(年2回、8月2月頃、加茂ふれあい会館、加茂自主防災会) ・ 防犯等の講習会(年1回、7月頃、南花屋敷中央会館) ・ 街灯管理(発見者が連絡、自治会員) ・ 災害時の行動指針を全戸に配布	その他 ・ エコキャップの回収(毎月1回、ひばり自治会) ・ ゴミステーション管理(自治会担当) ・ 様々なスポーツ活動(スポーツクラブ21) ・ 地域福祉活動グラウンドゴルフ(60歳以上対象、加茂小地区対象) ・ 資源回収 ・ 子ども会の活動に資金提供(古紙)

3 地域の課題

●近所づきあいの関係づくり

近所の人の交流が少なく、お互いに関わりのない近所関係が増えてきているという指摘があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近所同士知らないところが増えている
- ・ 地域への関心度が低下している
- ・ 特に壮年者が集まる場が必要だと思う

●自治会活動の活発化

自治会活動に参加しない人が増え、活動自体も活発でなくなってきたという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自治会員が減少し、活動が活発でなくなってきた
- ・ 若い人や集合住宅の住民に、参加者が少ない傾向にある気がする

●自治会役員のための人材の確保

活動に関わる人が高齢化し、役員の担い手が見当たらないという問題が指摘された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 役員が固定化しており、負担が集中
- ・ 高齢の家庭が増えて、自治会の担当をする人が限られている

●高齢者の見守り

地域住民の高齢化に伴い、地域での見守りが必要な人が増加している。高齢者が外出する機会を増やすために、集まる場所が必要との意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 認知症だと思われる人が増えており、心配
- ・ 日常や集まりの時、高齢者が出てこないで心配になる
- ・ 喫茶店が少なく、気軽に集まれる店がない

●子どもが元気に育つ環境

ひとり親家族、共働き家族など、様々な家庭の形態が出てきているとの指摘があった。子どもの遊ぶ空間が十分でないのではないかという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ ひとり親家庭、共働き家庭が多い
- ・ 子どもの遊び場が少ない
- ・ 最明寺川があるのに、子どもの遊び場になっていない

●生活の中の安全・交通安全

道路が狭く通行が危険な場所があるという意見が出た。空き家が増加してきているので、対策が必要という指摘があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 歩道が狭いところがあり、交通量も多い
- ・ 人が増えたのに対し、道路の対応が追いついていない。道路の状態が悪い
- ・ 空き家が増加し、防犯上問題が起こりそう

●その他

各住民のマナー向上が必要、障がい者でも快適に生活するための環境が必要という意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犬の糞の始末が悪い
- ・ 川西市には障がい児を受け入れる通園施設がなく、他市を利用することが多く不便

4 地域のありたい姿

●人情味があふれ笑顔で暮らせる地域をつくっていく

日常生活の中であいさつや声かけを通して、近隣住民のつながりが形成されているような地域の姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 加茂っ子の笑顔がいっぱいあふれるまち
- ・ あいさつ声かけ見守りで 安心して暮らせるまち
- ・ 自然豊かで人情味あふれる皆がひとつになれるまち
- ・ 安全に過ごせる笑顔やあいさつのあふれる人間味のあるまち

●地域の祭りや伝統を大切に多くの人に参加する

地域の祭りや伝統行事に多くの住民が参加する姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域のお祭りでみんなが仲良し 伝統を大切にするまち

●いちじくや桃、遺跡など自慢できる資源を大切にする

いちじくや桃などの特産品、遺跡などの加茂小地域にしかない資源を、地域住民が大切にしていく姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 遺跡と自然 我らの宝にめぐまれた 美しいまち ロマンのまち
- ・ 桃の花に包まれながら世代を超えて元気に走り回るまち

- ・ ホタルやイチジク、桃などの自慢できるものがあるまち

●高齢者も子どもも元気に過ごせる

年齢を問わずスポーツを楽しみ、元気に過ごすことのできる姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 世代を通して活気ある スポーツが盛んなまち
- ・ 桃の花に包まれながら世代を超えて元気に走り回るまち
- ・ 元気な高齢者が好きな時間に自由に集える飲食可能な場所があるまち
- ・ 子どもも大人も遊べる場所が多くあるまち

●若い人が住みたくなる、魅力的な地域

地域から一旦転出した若い人が、また戻ってきて住みたいと思えるような地域の姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ みんなが戻ってくる こちよい夢のあるまち
- ・ ホタルやイチジク、桃などの自慢できるものがあるまち

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●イチジクや桃、遺跡など自慢できる資源を大切にする

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域に直売所を設置			●
加茂遺跡を含め紹介する標識をつくる		●	●
最明寺川をきれいにする	●	●	
最明寺川堤防散歩ロードをつくる			●
外来植物対策。日本古来の生物を守る	●	●	
文化財資料館の改革、コミュニティビジネスへ			●

●人情味があふれ笑顔で暮らせる地域をつくっていく

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域行事に参加	●		
見守り、声かけで安全な街づくり	●	●	
向こう三軒両隣を意識する	●	●	
会ったときに、地域の大切な事柄を教えてあげる	●		
親睦バス旅行で3世代の交流を図る		●	

●地域の祭りや伝統を大切にし、多くの人が参加する

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
盆踊り大会を地域全体のものにする		●	
鴨神社の夏祭り、秋祭りを大切にする		●	

●高齢者も子どもも元気で、世代を超えて交流できる

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
各自治会に飲食可能な集会所を設ける			●
元気な高齢者が自由に集まれる場所を設ける。喫茶店、飲食店		●	
地域の飲み会を増やす⇒役員候補掘り起し	●	●	
公園を増やす			●
スポーツが盛んなまちにする	●	●	●
階段を設置して、子どもが遊べる最明寺川にする			●
サイクリング道、遊歩道をつくる			●

●若い人が入ってくる、魅力的な地域にする

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
野菜の直売所（果物）をつくっておいしい野菜を買えるようにする	—	—	—
蛭を育て増やすプロジェクト		●	●
美しい地域を保つ	—	—	—
公園、グラウンドの清掃		●	●
桜や川をライトアップ			●
植木鉢をつくりガードレールに掛け、季節のいろいろな花を植える		●	
水車づくり		●	●
犬の散歩で訪れる人を見たら、必ずあいさつをする。犬フンのない遊歩道にする	●	●	

川西小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A 班 川西の玄関～安全・安心・美しい地域～

B 班 「き」のうも今日もこれからも
「ず」っとずっと笑顔のたえない
「な」かよくくらせる住みよいまち

C 班 古（いにしえ）の大楠に人が集まり手をつなぎ
未来を創る元気あふれるやなぎっ子

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●利便性に富んだ暮らしができる

JR、阪急の駅に近く、買物施設にも恵まれるなど、利便性に富んだ暮らしが可能である。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 買い物が便利
- ・ 交通の便（電車、バス）が良い
- ・ 図書館が近くにある
- ・ 市役所が近い
- ・ 一人住まいに不便を感じない

●美しい風景

五月山や猪名川の美しい風景を楽しむことができる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 五月山の眺め
- ・ 猪名川の風景

●拠点となる施設がある

地域には活動拠点となるような施設等が数多く点在している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 鶴寿会館
- ・ やなぎホール
- ・ パレットかわにし
- ・ みつなかホール

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域に良好な人材がそろっている
- ・ 地域の特産品「いちじく」

【地域で行われている活動】

世代間交流 ・ ふれあいハイキング(毎年3月第1日曜、川西小地区、福祉委員会) ・ ふれあい給食会(留守家庭児童育成クラブと高齢者との交流、年1回、福祉委員会) ・ 三世代グランドゴルフ大会 ・ 餅つき会(三世代交流) ・ コミュニティ事業 ・ 自治会が活発	祭り・伝統文化 ・ 川小夏祭り(毎年8月第1週、川西小コミュニティ) ・ 体育祭(毎年10月第1週、川小) ・ 文化祭(毎年6月の土、日、コミュニティ体育館、学校内) ・ こどもの日、猪名川のこいのぼり ・ 猪名川花火大会(毎年8月) ・ 小戸神社のお祭り(夏8月と秋10月) ・ 秋の太鼓(祭)(毎年10月中旬、地域の氏神でみこしを出す。25年ぶりに復活) ・ 3年ごとに神事	子ども健全育成 ・ 猪名川ドラゴンランド(せせらぎ周辺で、園児、小学生を対象に自然体験ランド) ・ 小学校との関係がよい ・ 川小での遊び ・ 手話交流会(毎月1回第4土曜10時から12時、パレット、福祉委員会) ・ 障がい者福祉の充実 ・ 障がい者カラオケ交流会(年1回12月、福祉委員会)、障がい者ボートレース大会(年1回9月、福祉委員会)、障がい者サポーターのNPO法人 ・ 地区ニュース発行(年2回7月、1月、福祉委員会) ・ ふれあい電話相談(毎月2回第1、第3月曜) ・ 他校との交流 ・ 放課後子ども教室 ・ 見守り隊の方(交代で毎日、保護者の立ち当番) ・ 役員が立当番の振り分けをきちんとしている ・ やなぎクラブ ・ 川遊びは危険だと認識している子どもが多い ・ 図書館での絵本の読み聞かせ ・ 学校安全協力員 ・ 子どものクラブチーム(野球、スポーツ関連) ・ 子ども会が中心になって花壇作り ・ 猪名川自然体験ランド
高齢者福祉 ・ 配食サービス(月～金、地域福祉委員会) ・ ふれあいサロン、ふれあい会食会(年4回、9拠点で、福祉委員会) ・ 敬老の日、こどもの日のプレゼント(年1回、自治会) ・ 元気な高齢者が多い ・ 高齢者の見守り、声掛け ・ 認知症徘徊SOSネットワーク ・ ボランティアアゴミ捨て ・ 車いす貸し出し拠点 ・ 夏祭りに、福祉の店出店	地域活動	
防犯・防災 ・ 防犯パトロール(毎月第1、第3月曜、防犯協会小地区) ・ たこ作り教室と防災訓練(小学校グラウンド、自主防災会とコミュニティ文化部) ・ 防犯灯の設置の充実 ・ 防犯(毎年3月、自治会委員、班長) ・ 小花連合防災倉庫	地域の美化・緑化 ・ 花クラブ(週1回、マンション敷地内の花壇の整備) ・ 天王宮公園、市有地、国交省用地クリーンアップ以外に、有志4、5名で草刈り実施 ・ 市有地の桜並木花壇の土壌改良、清掃、花植え(近隣住民4、5名) ・ 猪名川クリーンアップ(流域ネット猪名川、コミュニティ関係者30名参加) ・ 小花会館の清掃(月1回、小花連合自治会役員) ・ 小戸神社祭礼前に清掃作業 ・ NPO法人猪名川関係	その他 ・ コミュニティ行事が多い ・ 猪名川の阪急高架100m地点が鯉のえさやり場所となっていて、住民の憩いの場である(常に30～40匹も集まる) ・ 隠れた善行の表彰

3 地域の課題

●地域コミュニティの活性化

近所づきあいの希薄化や自治会活動の低迷など、地域コミュニティの活性化を期待するような意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近所づきあいが希薄
- ・ 地域活動に参加する人が固定化している
- ・ 自治会役員の高齢化
- ・ 民生委員のなり手がいない
- ・ 消防団に入る人がいない
- ・ 若い人達の福祉やボランティアへの参加が少ない
- ・ 自治会への関心が低い、理解が乏しい
- ・ 自治会からの脱会、未加入者が多い
- ・ 地域活動の拠点となる場がない

●地域や世代間のつながりが不足

地域のつながりや世代間のつながりが不足している状況を懸念する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 小学校区が2カ所に分かれており、小学生間や地域間のつながりが少なくなっている
- ・ マンション住民（特にオートロック）とのコミュニケーションがうまくとれない
- ・ 三世代で集える行事が少ない
- ・ 愛情の持てる家庭づくり、暖かい家庭を子どもに感じさせる
- ・ 男女共同参画
- ・ ドメスティックバイオレンスへの対応

●地域の安全性の確保

地域内の交通面や防犯面からの安全確保や防災に対する意識の向上といった意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 狭い道における交通規制の実施（時間規制など）
- ・ 災害時の要援護者支援に関する具体的な検討が必要
- ・ 水害時の避難場所
- ・ 消防車等の緊急車両が入ってこられない狭あい道路対策
- ・ 自主防災の観点から、災害時対応への取り組みを具体化したい
- ・ 災害情報の伝達手段の確保

●高齢者の暮らしの支援

高齢者が暮らしやすい環境づくりについて意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者がおしゃべりする場（井戸端会議）がない
- ・ 高齢者に対する見回りシステム
- ・ 近隣高齢者一人暮らしの声かけ運動
- ・ 高齢者と子育て中のお母さん達との交流の場がない
- ・ 空き家、空き地の有効活用がされていない

●くらしのマナーの向上

日々のくらしにおけるマナー向上を訴える意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犬、猫の飼い主のマナーが悪い
- ・ ゴミの不法投棄がみうけられる
- ・ ゴミの収集場所のカラス対策
- ・ たばこや空き缶のポイ捨てが多い

●子育て環境の充実

子どもたちの遊び場や児童館等の関連施設の充実など子育て環境についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 公園が少ない（服部緑地や五月山公園のような公園が欲しい）
- ・ 児童館が少ない
- ・ 小さい子どもが遊ぶことができる公園がない
- ・ 公園で野球やサッカー等のボール遊びができない
- ・ 児童の安全見回りに対する警察の協力を求めたい

●交通環境の向上

未整備道路への苦言、狭あい道路対策など交通環境の向上に対する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 昭和の時代に開発された住宅地内の道路が狭い
- ・ 道路のアスファルト舗装化（路面がでこぼこで高齢者や障がい者にとって危ない）
- ・ 信号が長い、音の鳴らない信号がある
- ・ 狭い道なのにスピードを出す車
- ・ 車の騒音

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 人口減少への対応
- ・ 個人商店の活性化
- ・ 地域活動と商業者との関わりを考える

4 地域のありたい姿

●地域のふれあいを感じることができる

子どもの笑顔や地域の人々の交流があふれた、地域のふれあいを常を感じられるくらしがしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子ども達が活発に動き、周りの大人が見守っているくらし
- ・ 子どもたちの可能性を伸ばすことのできる地域
- ・ 市民体育祭やふれあいハイキングなど地域や世代間の交流が育まれている
- ・ 困っているときに買物や通院などを気軽に手伝える
- ・ 笑顔があふれるまち
- ・ あいさつ、声かけの多いまち
- ・ 誰もが生きやすいまち
- ・ 思いやりのあるまち
- ・ 活力と元気のあふれたいきいきとしたまち

●地域のつながりを大切にする

近所づきあいがうまくいっている、地域のコミュニティがしっかりとしているなど地域のつながりを大切にする事ができるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ みんなが手を携えて地域を支えるまち
- ・ 近所づきあいがうまくいっている
- ・ とより近所の人々が昔みたいに常に交流できるまち
- ・ 世代関係なくあいさつしあえる
- ・ 色々な世代の人と交流できる
- ・ 自治会活動にも好意的に協力してくれる
- ・ 向こう三軒両隣の強化
- ・ あらゆる弱者、あらゆる人と共に生きるためのボランティアや生活を支えるビジネスがある
- ・ 高齢者が健康で生き生きする地域（ドラゴンランド等の資源を使った歩くまちづくり）
- ・ 認知症の人や障がいをもつ人を受けとめられる地域
- ・ コミュニティ活動が盛んで子ども達が行事に参加できる
- ・ 高齢者と幼稚園児、保育園児との交流

- ・ 自治会館のかわりに空き家が活用できる
- ・ 地産地消

●市民活動が活発なまち

祭りやイベントなど地域の交流を育む市民活動が活発なまちにしたいという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 各種祭りが複数ある
- ・ 地域の行事に大勢の人が参加する
- ・ コミュニティ活動が活発
- ・ 地域活動と親睦交流があるまち

●子育てしやすいまち

子どもが伸び伸び遊ぶことができる公園があったり、地域で子ども見守る体制が整っているなど、子育てしやすいまちにしたいという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 長時間子どもを預かってくれる
- ・ 子どもの遊び場をつくる
- ・ 安心して子育てができる地域

●高齢者が生き活きとくらせるまち

高齢者が安心して、生き活きと暮らすことができるまちにしたいという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者が安心して外出できる
- ・ 一人暮らしになっても安心して過ごせる

●誰もが安全・安心に過ごすことができる

防犯、交通安全、防災面など、誰もが安全で安心できるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犯罪が少ないまち
- ・ 急傾斜地が多いので防災の向上を図る
- ・ 災害の少ない安心して住むことのできる地域にする

●地域愛があふれるまち

市民も事業者も自分たちが暮らす地域を大切にするまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 商業者と共存できるまちづくり

- ・ 放置自転車や原付のないまち
- ・ ポイ捨てのないまち

●人が集まり元気に動けるまち

利便性を高める等、様々な条件を向上させることで人が集まる、活気のあるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 便利なまち
- ・ 自転車で移動しやすいまち
- ・ 生活必需品が簡単に手に入るなど買い物が便利
- ・ 医療機関が地域に多い
- ・ バリアフリーで整備された歩道、車道のあるまち

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 猪名川が整備され、散歩も気持ちよくゆったりできる
- ・ ゲンジボタルが飛び交うまち
- ・ 文化のかおりを感じることができるまち（小戸の平賀邸、小戸神社の楠）

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」表記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●地域のふれあいを感じることができるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
あいさつ運動	●	●	
声かけ運動	●	●	
人材、人財の自治会研修、啓発		●	
情報が皆に使われる機関		●	

●地域のつながりを大切にするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子どもが参加する事業を増やす	－	－	－

●子育てしやすいまちにするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子どもの遊びに地域の人が理解を示す		●	
公園の使用方法の見直し		●	●

●高齢者が生き生きとくらするまちにするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
会館開放の新しいルールづくり		●	
地域の交番所の活用		●	●
地域にある老人施設の有効活用		●	●

●誰もが安全・安心にくらすことができるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
自治会で安全パトロール、夜間の見回りなど		●	
防災非常時連絡網、防災無線			●
小花防災倉庫（防災キット）		●	
定期的な夜回り（防犯協会）		●	

●地域愛があふれるまちにするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
自動販売機を減らす		●	
地域で清掃活動の推進	●	●	
迷惑駐輪を減らす	—	—	—
個人のマナー向上（個人が意識して気をつける）	●		

●人が集まり元気に動けるまちにするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
商店、住宅が混在するまちへの転換	—	—	—
交通マナーの徹底啓発	●	●	●
違法駐輪をなくす、駐輪場をつくる	●	●	●
物産展、定期的な朝市、フリーマーケット、音楽など集客のための手段を考える	—	—	—

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
川をきれいにする（NPO と）	—	—	—
歴史的行事を通して文化を子ども達に伝えていく		●	
猪名川（中橋—絹延橋間）にボートの復活		●	
川の駅づくり（猪名川沿い）	●		

桜が丘小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A班 誰かれも 笑顔でつなぐ おせっかい

B班 創り上げよう!! 世代を超えて 住みよいまちに 咲かそう桜 心の中に

C班 つなかりで 安心を届けあう 桜小地域

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●生活に便利な環境が整っている

複数の交通機関が乗り入れており、商業施設が立地している。また、市役所や図書館、病院などの機能が身近に立地しており生活上便利である。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 交通網が充実
- ・ 商業地域（デパート、大型スーパー、外食施設）
- ・ 市役所、図書館
- ・ 病院（協立、九十九）、老健施設（ウエルハウス川西）

●自慢できる観光資源がある

様々な観光資源が点在している。また、古いまちなみの写真や、歴史を語り継ぐ人が存在し、資源を次の世代に伝えようとしている。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 最明寺滝
- ・ 栄根寺跡ナイチンゲール像
- ・ 良好な観光ルート（栄根寺ー地藏ー満願寺）
- ・ 満願寺の紅葉、あじさい祭り
- ・ 花屋敷バス停の風景、花屋敷の歴史を語り継ぐ人
- ・ 古いまちなみの写真収集

●美しい風景がある

高台から見る夜景など、身近に美しい風景がある。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 釣鐘山から見る風景（夜景）

●その他

駅周辺にゴミが落ちていないこと、子どもが比較的多いことなどが挙げられた。

（懇談会で出た主な意見）

- ゴミがなくいつも美しい川西能勢口駅前
- 子どもが多い（花屋敷山手町）

【地域で行われている活動】

世代間交流 ・ 男の料理教室(年1回、桜が丘小学校) ・ ミニ体育祭 ・ カローリング大会 ・ グラウインドゴルフ大会 ・ 歩こう会 ・ ふれあい喫茶(月1回) ・ ゴルフコンペ(3自治会) ・ バス旅行(65歳以上、年1回) ・ ハイキング(年1回) ・ バーベキュー大会(自治会) ・ スポーツクラブ21	祭り・伝統文化 ・ 昔の遊び(小学校、保育所) ・ ふれあい秋祭り ・ もちつき大会(自治会館、自治会) ・ 満願寺の大晦日甘酒振る舞い ・ 栄根寺のお地藏さんアルミ回収(年1回) ・ 盆踊り大会(宝塚市、川西市共催) ・ よさこい踊り隊(3自治会) ・ 子ども金太郎御興(3自治会) ・ ふれあい秋まつり	子ども健全育成 ・ 登校拒否児の見守り ・ アップル子ども会(宝塚市2自治会+川西市満願寺町) ・ 子育て広場、育児相談(第3木曜日、さくら会館) ・ 幼稚園、小学校児童交流(遠足付添、授業交流) ・ 図書ボランティア(桜小、川中) ・ 補習青少年活動(駅前など、補導委員) ・ 中学生への「おはよう」の声掛け(年4回、中学通学路、先生、保護者) ・ 小学生の通学の見守り隊
高齢者福祉 ・ 自治会の行事 ・ 敬老の日の記念品贈呈 ・ 親睦旅行の実施 ・ 高齢者雑談会(月1回) ・ 配食サービス(月～金、福祉活動の中のボランティア) ・ 高齢者見守り(月1回、担当民生委員) ・ 医療関連の支援(ボランティア) ・ 老人会(3自治会合同) ・ 障がい者のボランティア、裸足の楽園のグループに参加	地域活動	防災 ・ 防災活動で火の用心 ・ 地域で、防犯、防災講習(年1回) ・ 子ども110番 ・ 子ども見守り隊(通学時) ・ 防災倉庫の点検 ・ 自主防災会の徹底した活動訓練(2市合同のサポート) その他 ・ 卓球、ヨガ等のクラブ活動 ・ 猪名川河川敷の散歩 ・ 朝のラジオ体操(釣鐘山) ・ 自治会が17ある
	地域の美化・緑化 ・ クリーンアップの継続(自治会) ・ 夏期歳末警戒 ・ 栄根寺の掃除ボランティア ・ ゴミ箱の整備、管理(環境部会) ・ 団地清掃(年6回、全員) ・ 花屋敷会館の草刈り等美化(自治会)	

3 地域の課題

●地域のつながりの形成

近隣住民の関係や世代間の交流、地域内の新旧住民の交流、複数のコミュニティ間の関係など、様々なレベルでのつながりづくりが求められている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 複数のコミュニティ間のつながりを作りたい
- ・ 世代間の交流が不十分
- ・ マンション住民との関係構築が十分でない
- ・ 地域住民同士、互いの顔を知らない状況
- ・ 個人個人のつながりが弱い
- ・ 地域の子どもの交流が必要（子供の事故防止）
- ・ 各地域団体の活動につながりや連携が足りない

●地域活動の活発化

地域活動への参加者の減少について指摘があった。地域の問題を共有するための話し合いの場が必要との意見が出た。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域住民が共に活動する場（祭り）が必要
- ・ 地域行事参加者が少ない。自治会参加者、ボランティアが不足
- ・ 地域情報の発信力不足
- ・ 災害時に助け合う仕組みがない
- ・ 地域の問題を共有する場が必要。話し合いの場がある

●活動団体の担い手や役割

団体の活動の担い手不在の問題や、団体の役割の明確化や活動を推進するリーダーの確保などの課題が指摘された。また、役員への報酬についても議論が持ち上がった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ ボランティア、地域役員に対し報酬がない
- ・ 自治会活動を引き継ぐ住民が減少している
- ・ 自治会の役割が不明瞭
- ・ 各地域にリーダーがいない
- ・ 花屋敷団地の自治会活動がない

●高齢者が住みやすい環境づくり

高齢者の増加に伴って、単身者の孤立や、ゴミ出しや買い物など日常の困難に対して、声かけや見守りが必要との意見が出た。また、喫緊の課題として、団地内の移動（上下）対策が必要と指摘があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 単身高齢者の増加で孤立が心配。高齢者に対しての声かけ運動
- ・ 坂道が多く買い物、ゴミ出しが困難
- ・ 認知症の住民への対応
- ・ 高齢者のために、各団地にエレベーターを設置して欲しい

●安心して暮らすための整備

夜道の照明の確保や、災害時の避難路の確保について意見が出た。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空き家が増え、道が暗い
- ・ 公園内に防犯灯が必要
- ・ マンホール周りのセメントが剥げている
- ・ 市営住宅敷地内の災害避難通路の雑草処理
- ・ 市営住宅敷地内の避難口の開閉しにくさ（金網）
- ・ 防災拠点が活用しにくい

●様々な環境整備

地域の活動の拠点や気軽に集まることのできる場所、子どもが健康に成長するための空間や機会、駅周辺の交通環境、移動環境など、様々な整備の充実が必要との意見があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 集まれる場所が欲しい。地域活動の拠点、集会所が無い
- ・ 老後の施設、高齢者が落ち着ける屋外スペースが不十分
- ・ 子どもが芸術に触れる機会、のびのび遊べる公園が少ない
- ・ バスが通っていない
- ・ 駅周辺の整備が不十分。駅前の自転車置き場が少ない
- ・ 歩道の整備が不十分（ベビーカーや障がい者、車いすでの移動が危険）
- ・ 花屋敷山手町付近に買い物できる店がない

4 地域のありたい姿

●みんなが顔見知りで、つながっているまち

多くの人が顔見知りで、まつりなどを通じてつながりができ、日常的に集うことのできる場のある地域の姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ まつりを通じて、みんながつながるまち
- ・ コミュニケーションの充実（メール操作研修など）
- ・ 若い人にもっとまつりや奉仕活動に参加してもらう
- ・ 目的がなくてもその場に行けば、誰か相手が居る場所が常にある

- ・ 三世代で、多くの交流ができるイベントのあるまち
- ・ 地域全員が顔見知りになる
- ・ みんなで仲良く会話することができる雰囲気が欲しい
- ・ 商店、事業所と一緒にまちづくり

●高齢者が他の世代とのつながりの中で安心して暮らせるまち

高齢になっても安心して暮らせるように、集まって楽しく過ごすための空間や、日常的な買い物ができるような移動販売などがある暮らしが提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者が無料で一日のんびり過ごせる拠点の確保、お年寄りが、自宅外や会館で集まれる環境づくり
- ・ お年寄りの健康状態がすぐに分かる地域（黄色の旗運動）
- ・ 高齢者に配慮したやさしいまち（バリアフリー）
- ・ 子どもからお年寄りまで遊べることをする
- ・ 高齢者の一人暮らしでも安心して暮らせる
- ・ 多世代仲良く交流できる
- ・ 認知症になっても安心して暮らせる

●マナーがよく、気持ちの良い暮らし

人と人とのつながりのマナー、路上や公共空間でのマナーなど、全般的にマナーのいいまちという姿が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ マンション入居者のマナー、人とのふれあいのマナー
- ・ 犬のフンの始末、高齢者の方の路上でのマナー、たばこのポイ捨てのマナーなど

●資源があり住みやすいまち

空気の良さや夜景の美しさ、四季の移ろいを感じることができる自然環境などを誇りに感じられるような姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空気のおいしい花屋敷山手町
- ・ 高台なので、夜景がきれい（小戸墓地のお地蔵さん前）
- ・ 小川のあるまち
- ・ 自然環境が豊かなまち（春の桜、秋の紅葉）
- ・ 良好な観光資源があるまち（満願寺の紅葉や、あじさい祭）
- ・ 自然が多く、静かな環境

●見守り合い助け合えるまち

日ごろからの空き家の管理についての対策や、防災、防犯のための取り組みが行われてい

るまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 安全、防犯に強いまち
- ・ 空き家の見回り管理
- ・ 普段からの防災訓練

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●みんなが顔見知りで、つながっているまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	連携・ 協働
祭などの行事（文化祭、体育祭）などで、皆が顔見知りに	－	－	－
ふれあい秋まつりの実施		●	
昔遊びを小学校、保育所で		●	
自治会活動が活発になれば、みんなで仲良く話ができる	－	－	－
みんなでわいわいできる雰囲気づくり、サークル活動	－	－	－
各世代が集まって話す（PTA との連携）		●	
子どもと地域の大人との交流会で、顔見知りになるように	－	－	－
子どもを対象にした催しをする	－	－	－
ふれあいサロンの実施	－	－	－
日頃から協力的な人に参加を呼びかける	－	－	－
若い人に負担の少ない自治会の役割分担	－	－	－
団塊の世代への声掛け	－	－	－
子どもからお年寄りまで参加自由の自治会サポータークラブ づくり	－	－	－
自治会のないところに、自治会をつくる			●
自分から挨拶をする（朝の通勤、通学時には特に）	－	－	－
自治会であいさつ運動をする	－	－	－
自治会未加入者への加入の働きかけ		●	●
自治会館の共同利用の検討（会館が多すぎる）			●
市の管轄部門の再編検討（民生、自治会、福祉三者一体）			●

●高齢者が他の世代とのつながりの中で安心して暮らせるまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	連携・ 協働
自治会で声掛け見回り活動をする	●	●	
健康で居られるように様々な努力（歩く、運動）をする	—	—	—
地域包括支援センターと連携（連絡）する	●	●	
スポーツ 21 の健康体操を地域で行う（3 月に 1 回）		●	
認知症について、啓蒙サポーターを養成		●	●

●マナーがよく、気持ちの良い暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
ゴミが落ちていたら拾う	●		
信号があるところで、信号を守るように注意する	—	—	—
不法立看板、ビラの取り締まり（業者対策）			●
犬のフンを持ち帰らない人がいたら声を掛ける	●	●	
ゴミ置き場を美しくする（近隣で協力）		●	
身近な所の清掃をする	—	—	—

●資源があり住みやすいまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
IT（パソコン）活用	●	●	●
後につなげる人を育成する	—	—	—

●見守り合い助け合えるまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
宅配をしてくれる商店を開拓する		●	
防災（防犯）講習会を実施する		●	
朝、夕に交差点で見守りをする	●		
防犯灯をつける			●
普段見かけない人をみたときには声を掛ける	●		
月 3 回防犯協会中央支部と合同で地域のパトロールをしている		●	
防犯パトロール	●	●	

身近な所で、会館を活用してふれあいサロンを開催する	—	—	—
防災訓練の実施		●	
地域のボランティアを増やす		●	●
団地内で声を掛ける	—	—	—
ボランティアの有償化（ビジネス型NPO法人）		●	●
ボランティアの内容を示して、参加メンバーを募る		●	●

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域のPRの充実	—	—	—
地域活性化の一つとして買い物は地元です	●	●	
子どもの時からのしつけをしておく	●		
個人の体験をネットで発信	●	●	
防災倉庫の設置			●

川西北小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A 班 温故+知新=川西北地区

B 班 開発で変化する街、足を活かして支える永寿の北地区

C 班 地域の自然・支え合い・あいさつでつなぐ三世代

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●身の回りの風景

四季折々の良さを感じることができる風景を楽しむことができる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 鶯の森から東の朝の五月山の風景
- ・ 出在家から西の夕暮れ
- ・ 猪名川花火と淀川花火が見える
- ・ 猪名川の景観
- ・ 八坂神社と八皇子神社の桜
- ・ 松山遊園の桜
- ・ 古墳（勝福寺）のある風景

●鉄道駅が複数ある利便性

能勢電鉄が地域を南北に貫通しており、比較的交通利便性に恵まれている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 能勢電鉄の駅が3つある
- ・ 美しい駅名

●文化活動が盛ん

地域内で様々な文化活動が盛んに行われている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 鶯の森夢工房
- ・ 様々な作品展に出展する人が多い（文化意識の高い人が多い）
- ・ 仏像や能面を彫る人がいる
- ・ 画家（油絵）がいる

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 - 子どもが挨拶してくれる - 北小わんぱくクラブ（子育て支援） - 通学路での見守り - 学校の植木の剪定 - 放課後クラブ（折り紙、将棋、囲碁、ドッジボール、英会話） - 夏休み中のラジオ体操 - 北小のグラウンド整備（スポーツクラブ21） - 子ども会の加入者が他校区より多い（減少してきているが）	祭り・伝統文化 - 子ども神輿の巡行 - 盆踊り大会（毎年8月） - 三輪神社での行事 - PTCA 文化祭 - 餅つき大会 - 文化会館での長寿祭 - 各地区での地蔵盆（萩原は地元の人だけ、他は子ども会を呼んでくれる） - 盆踊り、火打（子どももこし、滝山、出在家）	高齢者福祉 - 高齢者対象昼食会（福祉委員会） - 高齢者のグラウンドゴルフ（隔月） - 茶話会（隔月、老人クラブ） - 地域内ハイキング大会（福祉委員会） - 無料で車いすを貸し出している（福祉委員会） - 自治会を巡って高齢者昼食会（福祉委員会） - 老人会活動が盛んに行われている - ふれあいサロン（月1回） - 心配事相談（毎週水曜日） - 配食サービス（ボランティア登録42名） - 電話訪問安否確認 - 皆で声を出そう、家から一歩出かけよう - カラオケ（月2回、集会所） - ふれあい昼食会（250食、北小体育館、公民館） - 食事会の野菜等、食材の大量寄付 - 毎月各自治会集会所にて食事（約1年に1回回ってくる） - バス旅行、ハイキング（年2回、老人クラブ） - 心配事相談（週1回、地区福祉委員）
地域の美化・緑化 - 町内大掃除（年2回、7月、12月） - 公園清掃（毎月最低1回、子ども会） - 生ゴミ用ボックスの設置 - 古紙収集（シニアクラブ） - 新聞、段ボール集め（月1回、子ども会の資金） - ゴミ収集場のエコバックの利用を地域全体で行っている - 行事ごとの公園清掃 - クリーンアップ（年2回） - ゴミの日はゴミ袋を地域で買ってもらう	地域活動	世代間交流 - 餅つき大会（高齢者が子どもに丸め方などを教えている） - 高齢者のサポーターチームが自助組織化できている - 老人会と子ども会がラジオ体操（松が丘） - 老人と子どもの交流（年2回） - 桜が美しい地域で親睦をかねた祭り - 公園での飲み会（年1回、自治会） - 焼き芋大会（八皇子神社、年1回、高齢者と子どもの交流、子どもが火を体験できる） - 花見歩こう会（年1回） その他 - 他市の自治会との共同行事（夏まつり、文化祭等）が地域活性化になっている - 地区共存（宝塚市、松が丘）での自治会行事（文化祭、餅つき、夏祭り） - 松が丘ではまつり、作品展が地域を挙げて行われ、住民同士が知り合うきっかけとなっている - 消防団、子ども会等、各種団体間の協力体制
	防犯・防災 - 歳末特別警戒（12月25日～27日） - 隣の自治会と共に防犯巡回活動 - コミュニティの防災組織 - 防災訓練 - プラザに炊き出し備品を確保 - 頻繁な夜間防犯見回り	

3 地域の課題

●自治会のあり方を見直す

自治会活動の低迷が問題視されるなかにあって、自治会活動のあり方そのものを見直す必要があるのではないかといった意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自治会未加入者が増加している
- ・ 自治会役員の高齢化により各種行事を実施することが困難になってきている
- ・ 地域の連帯意識の低下
- ・ 単位自治会ごとに活動内容等に差がある

●地域のコミュニケーションの向上

マンション住民と戸建住民との関係性が希薄化するなど、地域内でのコミュニケーションを向上させる必要があるといった意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ コミュニティの行事参加率が低い
- ・ コミュニティプラザの立地場所が悪い
- ・ 少子化により子ども会が成立しない
- ・ 小学校の校区が自由に選択できるようになり、子ども会の活動がしにくい

●高齢者への支援

高齢者の日常生活に対する支援など、高齢者が安心して暮らすことのできる環境づくりを求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者の配食サービスが土日にはない
- ・ 個人情報保護が高齢者支援への妨げになっている
- ・ 高齢者が日常的に楽しく過ごし、コミュニケーションをとることのできる場所や機会が少ない
- ・ 高齢者の買物支援、移動手段に対する支援
- ・ 独居老人への支援（見守り、地域とのコミュニケーション促進のための取り組みなど）

●空き家への対応

地域に増加しつつある空き家について、安全や安心面からも有効活用を図るべきといった意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空き家の入居促進を図る必要がある
- ・ 放置された空き家（敷地）が見苦しい状態になっている（地域で何とかできるか）

●地域の安全性の向上

災害時はもちろんのこと、日常生活においていかに安全、安心を確保していくかという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 災害時の連絡方法について十分な準備がなされていない（マニュアル化を図るなど）
- ・ 警察の巡回が少ない
- ・ 交通安全の確保（歩道の維持管理や高齢者対応、自転車の運転マナー向上など）

●環境保全

自然環境を大切にだけでなく、地域の清掃、公園の美化活動など身の回りの環境をいかに美しく、保全していくかという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犬の糞の放置などマナーの悪い住民が多い
- ・ 空き家、空き地の雑草等への対応が必要
- ・ 竹やぶの刈入れなどが十分にされていない
- ・ 公園を使いやすいように地域で管理
- ・ 猪名川の河川環境の活用（子どもが親しめるような環境づくり）

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 中央北地区の整備構想が見えてこない（地元であるにも関わらず）
- ・ 行政と地域のコミュニケーションをもっと密にしたい
- ・ 小児科や産婦人科等を増やしてほしい
- ・ 病院の診療時間をもう少し柔軟に対応してほしい
- ・ 病後児保育がない

4 地域のありたい姿

●住民の交流が活発

新旧住民の垣根がなく、様々な人が交流し、お互いに助け合いができるようなまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 気取らずお互いが助け合えるまち
- ・ 世代交代が円滑にできるまち
- ・ 笑顔であいさつのできるまち
- ・ 魅力ある地域行事を大切にするまち
- ・ 地域の伝統行事を守り、引き継いでいくことのできるまち

●子育てがしやすい

子どもがのびのびと遊べる公園が充実していたり、子どもを見守る大人がいるなど、子育てがしやすい環境が整ったまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域で子どもの豊かな環境をつくれるまち
- ・ 自由にのびのびとスポーツができる公園があるまち
- ・ 若い人が安心して住めるまち

●高齢者や障がい者が暮らしやすい

高齢者や障がい者が気軽に外出でき、地域のサポートのなかで安心して暮らすことのできるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者や障がい者が気軽に外出できるくらし
- ・ 高齢者や障がい者への思いやりのあるまち
- ・ バリアフリーの環境が整ったまち

●利便性に富むくらし

移動手段が充実していたり、買物が便利といった利便性に富んだまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 誰もが安全に移動ができるまち
- ・ 買い物に便利なまち
- ・ 夜間でも往診してくれる医者、医院が多いまち

●自然を大切にする

地域の豊かな自然環境を大切に、日常のなかで緑や河川に親しむことができるくらしがしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 豊かな自然とふれあえるまち
- ・ 自然と共生できるまち
- ・ 豊かな自然に子どもたちが親しむくらし

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●住民の交流を活発にするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
隣近所の人が自治会加入を呼びかける	●	●	
新規連絡の時など市から自治会加入を促す			●
マンションぐるみで自治会加入をすすめる (コミュニティからマンションのオーナーに申し入れ)		●	
昔遊びの方法を親世代に伝える		●	
地域イベントの活用	－	－	－
より魅力的な行事を検討し、PR をしていく		●	
各行事終了後には打ち上げ会を開催		●	
子どもの下校時に見守りを行う	－	－	－
不用品交換会の設立	－	－	－

●子育てしやすい環境づくりのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域の施設整備の優先順位を決める			●
学校の花壇への花植えなどを地域ボランティアで対応	－	－	－
婚活、出会いの場をつくる		●	●
老人会活動や自治会活動のリーダー的指導を行政で進める		●	●
地域全体で子どもを育てる		●	

●高齢者や障がい者が暮らしやすい環境づくりのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域でサポートチームを創設する		●	
高齢者それぞれの状況にあった参加を促進する		●	
仲間づくりのコーディネートを自治会で行う		●	
移動が困難な方にはタクシー代を補助し、イベントに参加してもらう（外出を促す）		●	
空き家の把握			●

●利便性を充実させるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
車優先の道路（整備）を見直す（切り下げを無くすなど）		●	●
市、県、国の垣根を外す（どこでもひとつの窓口が対応できるようにする）		●	●
中央北地区の開発に合わせた道路整備			●
ブロック囲い（塀）のないまちづくりのルール化（交通事故防止）	—	—	—

●自然を大切にするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
守りたい地域の景観マップを作成する		●	
老人会主催の花見、夏祭り、餅つきなどに公園を利用する		●	
清掃活動	●	●	

明峰小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

- A 班** “田舎の都会” 自然に恵まれ、利便性のあるやさしいまち明峰！！
- B 班** 石切山、釣鐘山の豊かな自然にふさわしい“三世代交流のまち明峰”
- C 班** 地域資源を使いこなして、みんなが参加するまちづくり
ー人材、文教福祉施設、自然環境、まつりを活用したまちづくりー

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●身近に感じられる自然や歴史遺産が多い

身近なところに触れることができる自然が豊かで、名所となっている歴史遺産も多い。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空気がきれい
- ・ 自然が豊か
- ・ せせらぎの道
- ・ ホタルが出る
- ・ 近くに緑の散策路、きづきの森、石切山
- ・ 水田がまだあるので自然を感じることができる
- ・ 歴史遺産が近くに多くある

●美しい街並みと眺望がある

住宅地の街並みが美しく、また高台にあって周りの山や大阪平野への眺望が素晴らしい。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 住宅地内の道路幅が広い（鶯が丘など）
- ・ 住宅地内はゴミが少なくきれい
- ・ 眺望がよい（阪神高速の猪名川の吊り橋の夜景、五月山～箕面の山々の眺め、明小、公民館から見える北摂の山々、石切山から大阪平野への展望 など）
- ・ 自治会館前道路のカナディアン楓が素晴らしい
- ・ 文教地区としての風格

●公共的な施設が充実している

公民館や自治会館などの施設や高齢者福祉施設、公園、教育施設など公共的な施設が充実している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者福祉施設がある（湯々館、満寿荘）
- ・ 認知症のグループホーム（１８名定員）がある
- ・ 障がい児のデイサービス施設がある
- ・ 地区に小学校、中学校、高等学校、公民館がある
- ・ 自治会館の施設充実（萩原台）
- ・ 宝塚医療大学の利用（食堂、自治会行事）
- ・ テニスコート（２カ所）
- ・ 公園や緑が多い
- ・ 簡易郵便局がある

●優れた人材が多い

特技を持つ人、意識の高い人、元気な人など優れた人材が多い。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ そば打ち名人在住
- ・ 芸の達人がたくさんいる
- ・ 良識人が多い
- ・ 子育てに熱心な人材がいる
- ・ 女性が元気
- ・ 素直な子どもが多い

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 公共交通手段に恵まれている
- ・ 迷路的構造の住宅地（よそ者が侵入しにくい）

【地域で行われている活動】

世代間交流 ・ 明峰体育祭（小中高生がたくさん参加） ・ 何でも相談の窓口（毎週木曜 13～16 時） ・ 餅つき大会 ・ 三世代交流の場（年 1 回、内容は年度毎に変更） ・ ルピナスの会バザー（20 年間） ・ 自治会でバスツアー ・ 明峰ゴルフ大会（自治会主催、年 2 回） ・ 湯山台ふれあい交流バザーの開催 ・ ふれあい交流会（毎月） ・ 子どもたちと芋掘り ・ 夏祭り子ども太鼓	祭り・伝統文化 ・ 明峰文化祭 ・ 明峰まつり ・ 湯山台地区とんど ・ 健康作りハイキング ・ 自治会の夏祭り、手作り模擬店（7 月） ・ 納涼盆踊り大会	子ども健全育成 ・ 地蔵盆の実施（湯山台） ・ 餅つき大会の開催（600 人参加、湯山台） ・ 小学校登下校パトロール（毎日、湯山台） ・ 参観時保育のボランティア ・ 子ども登下校見守り（南野坂老人会） ・ 明峰まつりに向け、子ども神輿を前日夕方に町内を巡らせる（カンパが出てくる） ・ ふれあい広場（親子交流）木工教室 ・ 子ども絵画教室（ボランティア） ・ プール開放 ・ 共同自治会館での子育て支援活動（週 1 回、母子とボランティアで、保育士により） ・ 小中高が地区内にある ・ 地域別ソフトボール大会 ・ スポーツクラブの充実 ・ 子育て交流広場（毎週火曜日、自治会館、自治会） ・ まちの子育て広場を自宅で開催（30 年以上） ・ 幼児子育てグループが多い
高齢者福祉 ・ 憩いの家（月 2 回、65 歳以上の集いの場） ・ 認知症予防脳トレゲーム（月 2 回、講師派遣も） ・ 地区のボランティア活動（やまびこ会、あいあい会） ・ 配食サービス（毎週月～金、明峰公民館、福祉の配食ボランティア） ・ 高齢者のふれあいサロン（毎月第 2 水曜の午前中） ・ 各自治会の老人会活動が活発（全体として明老連） ・ 団らん昼食会（月 1 回、高齢者が料理を作って食事を楽しむ） ・ 湯山台安心カードの作成（65 歳以上の高齢者全員に配布） ・ 認知症高齢者の徘徊発見通報 SOS ネットワーク ・ 市民後見人制度への取り組み（福祉） ・ そうめん食事会（年 3、4 回、鶯台） ・ 囲碁、将棋（老人会、月 2 回） ・ 敬老祝会（9 月、自治会） ・ いこいの家で高齢者の懇親会 ・ 月例老人会（踊り、カラオケ、食事会） ・ やまびこ会の活動（傾聴ボランティア、湯々館ボランティア、困っている人の手助け） ・ 福祉関係勉強会（講習会）	防犯・防災 ・ 災害時安否確認登録カード制度（98% 提出、湯山台） ・ 挨拶運動推進（防犯対策） ・ 防犯パトロール（現在 120 名、週 1 回） ・ 安全確認と避難のしくみづくり ・ 防災安否確認運動 ・ 自主防災会の活動（訓練、啓発、自治会） 地域の美化・緑化 ・ 環境を考える会のリサイクルバザー（年 3 回） ・ 市一斉クリーンアップに合わせた地域クリーンアップの実施（年 2 回） ・ 市緑化と連携して公園の清掃（月 1 回） ・ ビンの再利用を進める活動 ・ 植栽花づくりボランティア ・ 公園掃除とコミュニケーション ・ 一升瓶集め ・ 春秋全戸一斉清掃 ・ 毎月公園清掃 ・ 中高生のクリーンアップ作戦	その他 ・ ソフトボール大会 ・ 囲碁大会 ・ 共同自治会間でのサークル活動等が活発 ・ カローリング大会 ・ ドッジボール大会 ・ ウォーキング ・ 生き生き元気クラブで健康づくり ・ 月例ハイキング（歩こう会） ・ 歌教室

3 地域の課題

●生活マナーの改善

ペットの飼い方やゴミの出し方など生活マナーの問題についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 公園で犬の放し飼い
- ・ 公園で犬に糞やおしっこをやらせている
- ・ 犬の鳴き声がうるさい（鳴き続ける）
- ・ 高齢化に伴うゴミ出しの問題
- ・ 粗大ゴミの不法投棄
- ・ 道德教育（一般ルール、マナー）が必要である

●子どもたちを健全に育成するための環境づくり

子どもたちの教育への不安や通学時の安全、遊び場など、子どもたちを健全に育成するための環境づくりに関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 学齢期子女の教育に不安
- ・ 優秀な児童の流出→流出予備軍
- ・ 地域の人が小、中学校にもっと目を向けて応援して欲しい
- ・ 小学校への通学地域により、近くの方へ通えるように見直す
- ・ 子どもの下校時の安全、下校時のまとまりのなさ
- ・ 公園に遊具が少なく子どもの安全な遊び場所がない
- ・ ヤングママ達の考え方が独善的
- ・ 子育て中の親への支援

●高齢者の見守りや暮らしを支援するための環境づくり

一人暮らしの高齢者が増え、近所付き合いなども難しく、見守りや暮らしの支援が必要であるが、そのための環境づくりが必要であるとの意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者の助け合い運動や一人暮らしの見守りが必要
- ・ 新しい高齢者福祉のあり方を考えていくことが必要
- ・ 高齢者支援の意識が低く少ない
- ・ 認知症予防の活動をしているが参加者が少ない
- ・ 障がい者を支援したいが実態がわからない
- ・ 高齢者の見守りで、プライバシーの問題から入っていけない

●暮らしの利便性や移動の安全性の向上

日常の買い物の利便性や買い物、通院などのための移動の利便性と安全性の向上を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ バス路線の見直しや運行回数を増やすことが必要
- ・ 坂道が多いので高齢になると外出が困難
- ・ 日常の生活に必要な店が少ない、不便である
- ・ 特に高齢者は買い物が不便
- ・ 高度の病院設置が必要
- ・ 交通の便が悪く、通院に不便を感じている
- ・ 自転車事故が多い
- ・ 私道が多い（行政のサービスが受けられない）
- ・ 道幅が狭いので溝を塞いで欲しい、車のすれ違いが難しい

●犯罪や災害に対する安全・安心

空き地や空き家の増加に伴う犯罪への不安や、災害時の暮らしの安全や安心に関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空き地や空き家が増加している（防犯、環境の問題）
- ・ 空き巣被害防止（交番所設置）
- ・ 地域内のパトロールが少ない
- ・ 災害時の避難場所の常設（夜間でも）
- ・ 災害等における助け合いの組織がない
- ・ 明峰地区全体の自主防災組織の一本化を
- ・ 防災訓練を強化する

●コミュニティ活動の活性化

コミュニティに対する意識が希薄であること、また活動の担い手や参加者が少ないなど、活動上の問題に関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近所付き合いや世代間のふれあいや交流が少ない
- ・ 共助という意識が低い
- ・ 新しい住宅地（平均 10 年）でコミュニティへの関心が非常に低い
- ・ 世代間など住民意識に違いがある
- ・ 自治会の活動が負担になっている
- ・ 自治会活動の担い手が高齢化している
- ・ 自治会員の減少（コミュニケーション、交流の場の減少）

- ・ 自治会の活動や行事への参加率が低い
- ・ 人材の発掘（ボランティア）と活用が必要
- ・ 文化的活動が少ない
- ・ 補助金、一括補助金、現在はヒモつき補助金

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 公園の活用が必要
- ・ 観光地、歴史があるが利用されていない
- ・ 企業が少ない

4 地域のありたい姿

●自然環境に恵まれみどりと小鳥が多い

四季を感じる自然環境に恵まれ、みどりと小鳥が多い静かな住宅地の姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 四季を感じることができる
- ・ 自然（雑木林、田んぼ他）の保存を拡充していく
- ・ 公園にいつもたくさんの人がいて交流が図れる
- ・ 現代風の遊具がおいてある公園がある
- ・ 静かな住宅地を守っていく

●交通手段が充実し気軽に外出できる

公共交通が充実し、また住民にやさしい道路があり、いつでも気軽に外出できるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ バスの代金が手頃で回数（南北）が多い
- ・ 陸橋にエレベーターがある
- ・ 遠回りしなくても道路を渡れる横断歩道がある
- ・ 駅前に駐車場が多く、車移動が便利
- ・ 東西を行き来する道がある（現在は南北方向の道しかない）
- ・ 道路規制が少ない
- ・ 道路と歩道がキレイに整備されている

●身近なエリアで生活できる

身近なエリアに店舗や医療施設があり生活が便利で障がい者や高齢者も住みやすいまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 町中にコンビニがある
- ・ 日常の買い物が簡単にできる
- ・ 町医者がいる
- ・ 大きな病院がある
- ・ 休日、夜間診療が対応できる機関がある

●安全を守り、命の大切さを知る

防犯や防災や交通安全のための仕組みや施設が整った安心して住めるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 災害等いざというときに「ご近所力」がある（自主防災活動など）
- ・ 24時間対応の避難場所が多くある
- ・ 小さい地域単位での防災訓練を強化する
- ・ 交番所が多く、バイクでのパトロールも強化
- ・ 安全灯がつけられている
- ・ 地域（安全）情報が伝わりやすい
- ・ 子どもが安全に通学できる道路
- ・ 自転車利用の規制（法律等）
- ・ 安全の自己防衛

●皆が笑顔であいさつを交わし、ふるさとと呼べる

住民が笑顔であいさつを交わしたり、地域活動が活発で誰もがふるさとと呼べるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 皆が笑顔であいさつを交わしている
- ・ 今風向う三軒両隣の復活（隣保の環境）
- ・ 近所付き合いや世代間の温かい交流があり、皆が親切で仲良し
- ・ 仲良しグループやサークルをもっと作りたい
- ・ 人が集まりやすい場所がある（一杯飲み屋、ふらっと出かけたなら人がある）
- ・ つながりを生むイベントや行事が盛りだくさんで楽しい
- ・ 行事には一人ではなく、家族や友人と参加する
- ・ 高齢者が外へ出るような活動
- ・ “皆” 自治会員、皆でまちづくりに取り組んでいる
- ・ 共働きが多くても自治会活動ができる

- ・ 行政、自治会を PR できる掲示板がある
- ・ ボランティア活動に積極的に参加する

●地域の子どもを地域で育む

地域の子どもたちを地域の住民が世代を超えて育てている元気なまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 町中で小さな子どもたちに声をかける（よその子も自分の子のように叱る）
- ・ 高齢者や中高生も子育て（支援）に参加できる
- ・ 子どもの安全を見守る組織がある
- ・ 子育て世代が親子で楽しめるスペース（談話室風）
- ・ 保育所、幼稚園が多い（若い世代が住みやすい）
- ・ 幼児や小学生までのこどもが安心して遊べる場の確保
- ・ 譲り合いの心を育てる

●高齢者や障がい者が健康で安心して暮らせる

高齢者や障がい者が健康で安心して暮らせる環境が整ったまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 市民病院の出先としての診療所
- ・ 近所にクリニックが欲しい
- ・ 高齢者や幼児を対象とした無料のデイサービスがある
- ・ 高齢になっても安心して暮らせる（買い物、医療、気軽に外出）
- ・ 後期高齢者はバスが無料
- ・ 世代間交流の充実により活性化を図り、若者が呼び込める
- ・ 高齢者の情報が共有できる
- ・ 認知症に理解のある人が多い
- ・ 認知症予防教室に参加できる
- ・ 認知症の人や障がい者が安心して気兼ねなく外出できる

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 暮らしの環境を自分たちが作っていくまち、魅力ある文化を育むまち
- ・ 自然を自分の庭のつもりでウォッチ、メンテナンス
- ・ 鳥の鳴き声を聞くことができる
- ・ 映画等の暮らしが楽しめる所が多い
- ・ 活力のあるまちにする（滞在のまち）
- ・ 地域内に利用できる公衆トイレが多い

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●自然環境に恵まれみどり和小鳥が多いために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
散歩道は安全だけを考慮したものであればよい		●	
散策ルートを整備する		●	
自然保護と新たに自然をつくるのは別として行なう		●	
街路樹を楽しむため、あまりばっさりと切りすぎない			●
公園等に明確な標識を整備する			●

●交通手段が充実し気軽に外出できるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
バスの路線に関して、行政と関係者での改善委員会を設け、検討を行う		●	●
問題のある道路（狭い歩道など）の整備			●
阪急バスに一方通行ではなく両方向に運行してもらう			●

●身近なエリアで生活できるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
移動販売（コープ、自治会、軽トラ）		●	●
行政と医師会の協調により医療環境の充実を図る			●

●安全を守り、命の大切さを知るために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
警察と連携した自主パトロールの実施		●	
地区を細かく分けてパトロールする（リタイヤ層に参加してもらう）		●	
犬の散歩でのパトロール		●	
自主防災マップを作成する		●	
OBおよび女性消防団を作る（自主防災会の活用）		●	

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
災害時の通報（警報）連絡網（連絡手段）を作る		●	●
防犯カメラを設置する		●	●
警察の区域を再検討してもらう（防犯、交番等の対策区域）			●

●皆が笑顔であいさつを交わし、ふるさとと呼べるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
気軽に誰とでも挨拶する	●		
大人から子どもに声かけをする	●		
向う三軒両隣をもっと広げる	●		
イベントの充実		●	
住民が参加しやすいイベントを開催する		●	
盛大なスポーツ大会を考える		●	
地域通貨を作る		●	
高齢者の人材バンク（魅力ある文化活動メニューを増やす、簡単な電球替えをしてもらう、植木の剪定をしてもらう等）		●	
自治会への若者の参加を増やす方法を考える		●	
公園に寄りやすくする（藤棚等）		●	●
市有地を活用した活動拠点を確保する		●	●
資源の有効活用をする←意見を聞いてメニューを作る（貸し農園等）		●	●
皆が自治会員となるような条例を作る			●

●地域の子どもを地域で育むために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子育て交流広場をもっと作る		●	
みんなで保育（参観時も）		●	
多世代が生活できるようにする		●	
大きな声であいさつをし合う		●	
公園を整備する（整備：行政,管理：地域）		●	●
若い世代の人用の交流の場や設備を設ける			●
児童館が欲しい			●

●高齢者や障がい者が健康で安心して暮らせるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
自家用車ボランティアの普及	●	●	
生活支援ボランティアを増やす		●	
高齢者のゴミ出しを地域で支える		●	
高齢者の集いの機会をもっと増やす		●	
イベントに参加しない高齢者への声かけ方法を考える		●	
認知症、徘徊者のネットワーク、連絡網の整備		●	
高齢者が喜ぶ施策（バス料金無料券発行）			●
パソコンの活用（GPS 等）による位置管理安全に遊べる公園づくり			●

多田小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A 班 春夏秋冬 優しさの輪ではぐくむきずな 歴史と自然のまち We love 「多田」
～ 春は桜 夏は川遊び 秋は祭り 冬は神社の初詣 ～

B 班 帰ってこいよ！！魅力ある多田

C 班 清流猪名川と源氏の歴史を育み、心ゆきかう元気でやさしいまち多田

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●源氏発祥の地・多田神社

源氏発祥の地と言われる土地柄で、様々な伝説、伝承がある由緒正しい多田神社があること。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 多田神社のもつ歴史性（伝説、伝承）
- ・ 多田神社の万燈会
- ・ 源氏まつり

●交流を育む祭事・イベント

源氏まつり、子ども山鉦など地域の歴史性に端を発する祭事、イベントの他、コミュニティ主催の盆踊り大会などが開催され、地域の交流を育む重要な役割を果たしている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 源氏まつり、子ども山鉦
- ・ 川西音頭
- ・ コミュニティの文化祭や盆踊り大会

●自然環境がもたらす恩恵

ホタルの生息する塩川、カワセミが憩う河川が存在、猪名川の風景など恵まれた自然環境によってたくさんの恩恵がもたらされている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 塩川のホタル、カワセミが生息する河川
- ・ 猪名川（の風景）
- ・ 赤坂池の風景

●暮らしやすい生活環境

交通利便性、買物利便性が高く、学校や病院などの公共公益施設も適度に充実した暮らしやすい生活環境が整っている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 能勢電鉄が近く、通勤、通学に便利
- ・ 学校や病院、商業施設（スーパーが 5 店舗）がバランスよく立地している

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 ・子育てひろば（月2回） ・「ぶちとまと」の運営（月2回） ・プール開放（コミュニティ役員） ・ラジオ体操（夏休み） ・夏休み子どもお楽しみ会（年1回、コミュニティ） ・料理教室（月1回、公民館） ・ふれあい集会（小学校、児童） ・見守り活動（毎日、自治会） ・子どもバスケット、野球（土日など） ・廃品回収（夏祭り、子ども会） ・いも掘りハイキング ・川原で遊ぼう、魚のつかみとり大会（年1回、7月） ・漢字教室 ・思春期の心理教室 ・スポーツ21活動（週2回）	祭り・伝統文化 ・書き初め大会（1月） ・盆踊り大会（8月、コミュニティ） ・秋祭り（10月、自治会、子ども会） ・子どもだんじり（10月、多田神社） ・多田文化祭（11月） ・源氏まつり（4月） ・太子神社の祭り（三年ごと、自治会） ・皇太神功の祭礼 ・紙芝居づくり（年1作、コミュニティ）	高齢者福祉 ・配食サービス（ボランティア「あい」、毎月） ・在宅支援（ボランティア、依頼ごと） ・お一人暮らしの集い ・地区1人暮らし交流会（第5自治会館、地区福祉委員会） ・高齢者の病状等を把握するための訪問（平日、自治会）
地域の緑化 ・小川の緑化、塩川のあたり（個人） ・公園の花植え、藤棚の手入れ（老人クラブ） ・公園の植栽（自治会）	地域活動	世代間交流 ・もちつき大会（12月下旬） ・ふれあい喫茶（月1回、自治会館） ・親子料理教室（夏休み期間中、小学校） ・ふれあい運動会（年1回、小学校、コミュニティ） ・三世代交流祭り（7月、自治会） ・三世代交流グラウンドゴルフ ・スローインビンゴ大会（年3回、小学校、コミュニティ、スポーツクラブ21役員）
地域の美化 ・公園、空き地、道路の計画的清掃（自治会） ・多田中生徒による地域清掃 ・地域老人会によるお宮の清掃（年3回） ・クリーンアップ大作戦（年2回、自治会単位） ・ゴミ資源リサイクル（月2回、子ども会、老人会） ・猪名川の清掃（自治会合同） ・ゴミ集積場の清掃（その都度、各自治会）	防犯・防災 ・自主防災訓練 ・防災研修会 ・防犯パトロール ・子ども見守りボランティア（週2～3日、ボランティア） ・交通安全教室の開催（自治会）	その他 ・広報紙づくり（福祉関係） ・障がい者のつどい（心、体） ・自治会の集まり

3 地域の課題

●自治会活動の衰退化

自治会役員のなり手不足、自治会からの脱会など、持続的な地域活動を支えることが困難になりつつあるという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自治会離れ（自治会からの脱会、加入しない人の増加など）
- ・ 自治会の役員になる人がいない、役員の高齢化など（後継者不足）

●子育て環境の充実

子どもがのびのび遊ぶことのできる公園の整備や子どもや親同士の交流の場が少ないなど、子育て環境の充実を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもがのびのび遊ぶことのできる公園など遊び場が欲しい
- ・ 若い親が遊ぶ場がない

●地域の良好な環境保全の取り組み

河川の水質保全や犬の散歩時のマナーなど、地域の環境保全に向けた必要性に係る意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 不法投棄がみられる
- ・ 犬の糞の後始末の問題
- ・ 河川の水が汚れている

●暮らしの安全・安心の確保

災害対策や独居老人増加への対応など、暮らしの安全、安心をどのように確保していくべきかという意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 河川工事（猪名川）が遅れているので、早期に対応してほしい
- ・ 独居老人の増加に対する支援体制の整備（災害時の高齢者の見守りなど）
- ・ 空き家が増加している

●交通環境の改善、整備

道路が狭く通行しづらい、子どもの通学が危険など交通環境の改善、整備を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域の主要な道路であるにも関わらず狭くて危険、事故が多発する危険な交差点がある

- ・ 緊急車両（救急車や消防車）が入れない道路がある
- ・ 通学路の安全性を確保する

4 地域のありたい姿

●歴史・文化を大切にする

源氏ゆかりの地の象徴である多田神社を大切にしつつ歴史性を継承していきたい、また地域の伝統文化を守り育み、地域に根差した文化として高めていきたいといった提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 多田神社の歴史に親しみ、猪名川で遊べるまち
- ・ 歴史を大切にするまち
- ・ 地域の祭りで仲良く、伝統を大切にするまち

●地域のきずなを深める

あいさつや地域活動などで交流を育み、地域のつながりやきずなを深めることができる暮らしについて提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 人とのふれあいできずなを深めるまち
- ・ あいさつ、思いやりの声をかけあうまち
- ・ 地域活動等への参加を通して、大人から子どもまでが住みやすいつながりのあるまち
- ・ 地域の祭りやイベント等を通して、ふるさとを愛する心を育むまち

●子育てしやすい暮らし

子どもが伸び伸びと遊ぶことができる環境整備をはじめ、子育てサークルや親子が地域の人々と交流することができるようなくらしについて提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもが安心して育てやすいまち
- ・ 親子が和むことができる場所があるまち
- ・ 若い世代が住みやすいまち

●猪名川の河川空間を活かしたくらし

猪名川で魚釣りが出来たり、子どもが水遊びすることができたりするような猪名川の河川空間を活かしたくらしの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 春は桜、夏はアユとホタル、猪名川で共演する自然豊かなまち 多田
- ・ 猪名川で魚釣りや水遊びができるまち

●安心できるくらしづくり

災害対策をはじめ、子どもや高齢者を見守る環境、体制が整った安心できる生活環境に対する提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 災害の少ない、住みやすいまち
- ・ 子どもを見守る活動が整ったまち
- ・ 犯罪を寄せつけない、人と車が思いやりをもって行きかうまち

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●歴史・文化を大切にするために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
猪名川、多田神社の歴史、文化を説明できる人材を育成する 多田神社の観光ガイドになる	●	●	
多田神社の特徴を PR する（テレビやラジオなど）			●
地域の歴史を伝える「紙芝居」づくり	－	－	－
世代を超えた文化に係るコミュニティ活動の実施		●	

●地域のきずなを深めるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
あいさつをする	●		
高齢者への声がけ	●		
一人暮らしの会の回数増加		●	
ふれあい喫茶のイベントの実施（若い世代を対象に）		●	
自治会加入を促進する	－	－	－
防災とプレーパークセンター（DPC）の活動を拡大する		●	
小、中学校と地域の交流を促進する		●	
地域の後継者育成		●	●
学校授業における道徳（しつけ、礼儀）の導入			●
過剰なプライバシー保護の緩和に向けた取り組み			●
憩いの場所をつくる		●	●

●子育てしやすいくらしのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
保育園を整備（誘致）する			●
総合病院を整備（誘致）する			●
地区別に実施している祭りをひとつにする		●	
高齢者の出番の場をつくる		●	
ボランティアのポイント制度の導入		●	●
住宅地開発時に公園を整備			●
親子サークルの充実		●	

●猪名川の河川空間を活かしたくらしのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
汚れた水を流さない	●		
河川の清掃活動	●	●	
（河川空間に）公園敷地を確保する	—	—	—
川を活かしたイベントの実施		●	
多田神社までの道沿いの桜並木の整備など			●

●安心できるくらしづくりのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
あいさつなどの声かけをする	●	●	
夜間に門灯をつける	●		
街灯を増やす			●
道路を広げる			●

多田東小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A班 笑顔のあいさつで始まる井戸端会議 多田東

B班 和・人・街・自然
源・地域のエネルギー、住み易さ
多・多くの人々
太・太い絆で結ばれる

C班 舎羅林に こだます 笑顔の輪

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●自慢できる伝統、文化がある

1000 年の歴史がある多太神社を中心として、西行の碑があるなど、歴史の深い地域である。また、三ツ矢サイダーが生まれた地という事実は、文化にもなっている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 多太神社(1000 年)
- ・ 西行の碑
- ・ 清涼飲料水発祥の地

●移動、買い物、医療面で便利

地域には 3 つの能勢電鉄の駅があり都市部にアクセスしやすく、医療機関や商業施設が充実している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 交通が便利（3 つの能勢電の駅がある）
- ・ 商業施設が充実。大きなスーパーマーケットが 3 つある。大型店（コーナン）の出店
- ・ 開業医が多い

●身近な自然環境

塩川など、豊かな自然が身近に残っている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 塩川のホタル

●有名な人を輩出している

地域出身で、特技のある人が全国区で活躍している。

（懇談会で出た主な意見）

- 岡本航君の仏画
- 芸能人（キングコング西野、ダチョウ倶楽部寺門他）

【地域で行われている活動】

世代間交流 ・ 三世交代交流(もちつき、しめ縄作り、昔遊び) ・ コミュニティ運動会、文化祭 ・ 花火大会(毎年8月、向山公園、自治会) ・ 高齢者に中学生が年賀状を送る ・ 作品展 ・ 地区別懇談会(多田中学校) ・ 三世代ふれあい広場	祭り・伝統文化 ・ 多太神社の秋祭り(獅子舞、大太鼓) ・ 多太神社の3年に一度祭り ・ 多太神社の年越し ・ 愛宕山の火祭り ・ とんど祭り ・ 地蔵盆 ・ 九頭神社のお祭り(7月15日)	子ども健全育成 ・ 登下校時の見守り隊活動(毎日、各地区) ・ 小学校で昔遊びの交流 ・ 子育てサロン(月1回、多田東委員会、民生委員) ・ 子ども会古紙回収(毎月第1土曜日) ・ 保育園の行事参加運動会 ・ 消防団による子ども向けの秋の防災訓練 ・ 多田保育所の園庭解放(地域の子どもが保育所に集まる) ・ きんたクラブ、子ども教室(毎週土曜日) ・ アニメ大会 ・ 障がい者、小学校、中学校、保育所の交流会(各年1回、福祉委員会)
高齢者福祉 ・ いきいき元気教室(年4回、地域包括センター) ・ いきいき元気クラブ(6地区、年4回、福祉委員会) ・ ひとり暮らし高齢者の集い(年2回、多田東会館、福祉委員会) ・ ふるさと学園(講演会、落語、演芸大会、老人会) ・ 災害時支援者、同意者の見守り(民生委員) ・ 自治会でウォーキング(春、秋) ・ 配食サービス(月～金、福祉委員会) ・ 認知症サポーター研修(年1回) ・ 徘徊対応訓練(年1回、福祉委員会) ・ ふれあいクラブ(毎月曜日、福祉委員会)	地域活動	その他 ・ 平野地域で、自治会役員及びその他の役員が交流会をやっている ・ 平野自治会はブログがあり、情報を公開している ・ 男性の料理教室 ・ 地域教育フォーラム ・ コミュニティ広報(ブログ発信)
防犯・防災 ・ 自治会の防犯パトロール(月2回) ・ 防犯協会月1回パトロール ・ 自治会中心で夜回り(鼓ヶ滝自治会) ・ 自治防災の災害ハイキング ・ 消防団毎月の試運転 ・ 救命講習会	地域の美化・緑化 ・ 公園、道路の清掃(地区菜の花グループ) ・ 年末年始イルミネーション(鼓ヶ滝商店街) ・ クリーンアップ作戦への参加(春、秋、子ども会、老人会) ・ 多太神社清掃(月1回、各自治会) ・ 公民館周辺の清掃奉仕(月1回、老人会)	

3 地域の課題

●地域の環境美化とマナーの再確認

犬の散歩時のフンの後始末や、ゴミの集積場所へのゴミ出しのマナーの再確認が必要という意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 公共の場における基本的なマナーの再確認が必要
- ・ 犬の散歩時のマナーが悪い
- ・ ゴミの出し方を自治会で決めているが、自治会に入っていない人などが適当に出してしまうことが多い

●みんなが参加する地域活動へ

自治会への加入者が少なくなる傾向にあり、高齢化も進んでいる。また行事に参加しない人も多く、地域活動が活発でなくなっているという懸念が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ コミュニティ行事に参加しない人が多い
- ・ 自治会への加入者が少ない
- ・ 高齢者が増えて自治会活動に支障が出て来ている
- ・ 活動をしたことがない人からの苦情が多い

●地域活動を担う人材発掘

地域活動の役を引き受けてくれる人や、大変なことは分担して手伝ってくれる人が必要という意見が出た。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 交代してくれる人材が見つからない
- ・ 学校の先生方の地域への参加協力が欲しい
- ・ 文句ばかり言わずに協力してほしい

●近所のコミュニケーション

新旧の住民の隔たりを超えて、コミュニケーションを促進する必要性が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近所のコミュニケーション不足
- ・ ワンルームマンションが増え、定住する人が少なくなっている
- ・ 新旧の住民間のまとまりが希薄

●防犯・防災面の取り組み等の充実

幅員の狭い道路では、通行が危険な箇所がある。多田駅周辺などで問題の認識がされている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 駅前の道路が自動車通行量の多い割に、道路幅が狭い
- ・ 空き家があり用心が悪い

●子どもが遊べる場所や集まる場所の確保

子どもがボール遊びなどしてのびのび遊ぶことのできる場所や、活動拠点としての空間が必要との意見が出た。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 昔と違って、住宅が増え、遊び場が減った
- ・ 子どもの遊び場がない(ボール、花火)

4 地域のありたい姿

●住民同士のふれあいがある暮らし

住民同士がふれあう機会が身近にあり、また公園などを中心としてコミュニティの行事が行われるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 立ち話のできるまち
- ・ 世代を超えて、ふれあいのあるまち
- ・ 絆のあるまち
- ・ 家族で過ごせる大きな公園が近くにあるまち
- ・ 公園でのコミュニティ行事を行うまち

●伝統文化を中心に人の集まる暮らし

活気のある祭りに、昔から住む人も新しく引っ越してきた人も集まってつながりをつくることのできるような、伝統文化を中心としたコミュニティの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 皆が伝統文化(祭)を大切にするまち
- ・ 歴史、文化を後世につなげるまち
- ・ 祭りでコミュニケーションを図り、コミュニティを醸成する場に

●充実した地域活動に多くの人が参加する暮らし

ひとつひとつの地域活動を充実させ、参加しやすいような工夫をすることで、多くの人が参加できるようにしていく方向性が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 参加しやすい充実した活動のあるまち
- ・ ひとつずつの地域活動を充実させるまち
- ・ 皆が催しに参加するまち
- ・ 男性が参加できる行事をつくる

●非常時に助け合い、守り合える暮らし

非常時には近所で協力して助け合うことができ、普段から安心して住むことができる安全なまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近所で協力して非常時に助け合えるまち
- ・ 安全、安心な明るいまち
- ・ 近所の方々の協力で、犯罪のないまち

●子どもがのびのび遊べる暮らし

子どもたちがのびのびと遊べる場所があり、大きく育つことのできるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子ども達がのびのびと遊ぶ
- ・ 子どもはのびのび、高齢者はゆったり過ごせるまち

●豊かな自然が身の回りにある暮らし

周辺に自然が残り、子どもが田んぼや川に親しむことのできるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 通学路に自然がたくさんある、田んぼがある
- ・ 四季の移ろいを感じられるまち
- ・ 子どもが安全に川遊びできる所がある

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●住民どうしのふれあいがある暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
遊休地や空地を確保し、公共施設や憩いの場所づくり(非常時には仮設住宅に)	－	●	●
立ち話のできる場所	－	●	－
地域の人でなくても挨拶をかわす	●	●	
伝統文化をきっかけに、世代を超えて交流している		●	
保育所との連携(ノウハウを教えてもらう)		●	●
公園、砂場を安全に(ガラス、糞などを取り除く)	●	●	●
ラジオ体操		●	

●伝統文化を中心に人の集まる暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
観光ボランティアの育成		●	
夏祭りの復活		●	
多太神社の秋祭りの毎年開催		●	
氏神を大切にする		●	●
かつての行事を復活させる		●	●

●充実した地域活動に多くの人に参加する暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
やりたい人が集まる自治会、入りたくなる自治会へ		●	
催しのアナウンス、集客方法		●	
駅前でビラを配り、参加を呼びかける		●	
催しの役員、予算を決める		●	

●非常時に助け合い、守り合える暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
防災ボランティアの拡充		●	
防犯協会との協働		●	
防災マップの作成		●	●
できるだけ各自治会で街灯をつける努力をする		●	
大きなこと（街灯）については市に依頼			●
P T Aでは通学路の安全、マナーを啓発していく	●		

●子どもがのびのび遊べる暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
運動公園の確保、再整備			●
大きな公園の設置(地域計画の立案)、河川敷の利用	—	—	—
高齢者から子どもへの伝承(ワラジ作り、しめ縄作り、たこ作り)		●	
子どもに気楽に声をかける	●	●	
子どもに注意する、ほめる	●	●	

●豊かな自然が身の回りにある暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域の景観をこわさないように配慮した看板を義務づける		●	
公園の掃除は自治会で定期的にする		●	
自然環境の美化、整備	●	●	
遊歩道の整備		●	●

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
犬の散歩時仲間でマナー向上の意識を高める	●		
活性化のために有名店を誘致する			●
地域の情報を広める(口コミ、ネット)	—	—	—
地域グルメの育成		●	

緑台・陽明小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A班 緑豊かで 老いも若きも 笑顔のまち

B班 子どもの声がこだまし 誰もが安心して暮らせる 緑のふるさと

C班 世代交流で楽しく暮らそう 地域力

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●猪名川の自然や桜の名所がある

猪名川と里山の自然や桜の名所にあふれるまちである。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 猪名川と川沿いの里山
- ・ 自然あふれるまち
- ・ 猪名川溪谷などの桜の名所が多い（川西市文化財に指定）

●清潔で美しい街並みの住宅地

区画が整った清潔で美しい街並みの落ち着いた環境の住宅地である。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 一戸建て住宅が多く、落ち着いた環境が保たれている
- ・ 持ち家の方が多く住むまち
- ・ 公園、緑地帯の「梅」
- ・ 40箇所以上の公園
- ・ 整理された区画の均質なまち
- ・ 清潔さと街並みの美しさ

●地域活動を担う人材が豊富

地域活動を担う上質な人材が豊富で、教育熱心な人も多い。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 上質な人材が豊富
- ・ 高いボランティア意識
- ・ 教育熱心な方が多い

●地域活動が盛ん

交流イベントや高齢者の活動、子どもの居場所づくりなど様々な地域活動が展開され、活発に活動している団体が多い。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ サマーカーニバル
- ・ 年末お餅つき
- ・ コミュニティスペース事業
- ・ 小学校（緑台、陽明）、中学校（緑台）の子どもの居場所。学校支援本部
- ・ 居場所で世界的なアーティストを生ライブで聞ける
- ・ 公園が住民の手で、手入れができ、いつでも住民が安心して利用できる
- ・ 生き生きクラブの活動

●助け合いや見守りで安心して暮らせる

住民同士の助け合いや高齢者、子どもの見守りがあり安心して暮らせる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 基本的に近所で助け合う
- ・ 高齢者等のリタイアされた方が、見守ってくれるまち
- ・ 高齢者の生活の手助け
- ・ 一人暮らし対象者で、行政のゴミ収集の対象外の人に対する支援
- ・ 防犯面で、安心して暮らせるまち

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもと大人が、自然とあいさつをする
- ・ 子ども達が数名で外で遊んでいる風景
- ・ グリーンハイツ商店街

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 ・クリスマス会(12月、自治会館、福祉委員) ・ふれあい祭(年1回、緑台小、緑台小PTA) ・川遊び(年1回、大路次川、コミュニティ文化部) ・子育て広場「この指止まれ」(月3回、福祉委員) ・放課後子ども教室(毎週土曜日、緑台小) ・きつぱいもほり(11月、清和台) ・ぞうさんクラブ ・まつの子クラブ(松風幼稚園、園庭開放) ・陽明小わくわくクラブのお手伝い ・陽明バザー(2月、小学校) ・青少年育成市民会議(隔月、中学校) ・プール開放(年1回、小学校、コミュニティ) ・緑中トライアルウィーク ・チーム学ボラの活動(図書館など)	祭り・伝統文化 ・体育祭(5月、緑台小、コミュニティ) ・グリーンフェスタ(年1回11月、自治会) ・サマーカーニバル(年1回、陽明小) ・清流台納涼祭 ・福祉もちつき大会(12月、緑台小、コミュニティ) ・ファミリーハイキング(11月、コミュニティ体育部) ・各種のサークル活動(コミュニティ) ・合同音楽演奏会	高齢者福祉 ・配食サービス(月～金) ・オレンジリング ・アイネットの活動 ・有償助け合い活動 ・ほぼえみサロン(月2回、福祉委員たすけあい部会) ・ゴミ収集サポート(希望者に対して、自治会) ・やまびこ相談(なんでも) ・なんでも相談窓口(月～金、10時～16時、民生委員中心) ・シニアクラブ ・バスツアー(年2回) ・ふれあいサロン映画の会(年2回、福祉委員) ・一人暮らし高齢者の見守り ・ヘルプキット ・健康講座(年9回、社会福祉協議会、自治会) ・外出困難者への対応
地域の緑化 ・彼岸桜の保存 ・地域の花壇の管理 ・緑化事業 ・公園清掃 ・水明台の桜(地域のクラブが陽明小生徒と一緒に見守っている)	地域活動	
地域の美化 ・自治会館庭掃除(年6回、老人会) ・中学生徒会主催の清掃活動(夏休み中の1日) ・活き生きくらぶ ・クリンアップ作戦(年2回) ・ボランティア美化活動 ・リサイクル資源回収 ・カラス防止ゴミネット ・枝垂れ桜の管理	防犯・防災 ・防犯パトロール(月1回) ・歳末パトロール ・防災訓練(10月、連合、地区自治会) ・児童見守りパトロール(毎日) ・青パトパトロール(ほぼ毎日) ・ワンワンパトロール(ジェントルワン) ・救援救助の講習会 ・高齢者交通安全講習会 ・防犯カメラ設置	その他 ・ソフトボール大会(スポーツ公園、コミュニティ体育部) ・障がい者郊外遠出(年2～3回) ・献血活動 ・機関紙「ぐりーんひろば」(月1回) ・広報紙「笹りんどう」 ・安全安心マニキュアルの作成 ・障がい者健康マージャン(月1回、社会福祉協議会) ・ふれあいデイサービス緊急お泊り ・男の料理教室(月2回、約40名、福祉委員)
世代間交流 ・ぴーぷる広場(月1回) ・ウォークラリー ・ファミリーハイキング(11月) ・三世代交流バスツアー ・ジョイフルフレンドクラブ事業 ・手話講座 ・映画会		

3 地域の課題

●高齢者や障がい者の暮らしの支援

一人暮らしの高齢者や認知症の高齢者、また障がい者の暮らしの支援についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 歩道の段差が大きく車イスに不便
- ・ 老々生活で、ちょっとしたこともできにくくなってきた（電球交換、大型ごみ出し、植木の手入れ）
- ・ 買い物や外出も不便
- ・ 障がい者の居場所がない
- ・ ボランティアや民生委員の人材育成
- ・ 介護ステーション、配食センターの整備
- ・ 福祉関係の財源確保
- ・ 認知症を家庭で抱えてしまって、地域では見えにくい
- ・ 元気な老人だけでなく、外に出てこない人の声を受け取れない
- ・ 認知症による近所迷惑行為
- ・ 助け合い活動の中身を宣伝しにくい、NPO は事業者枠になってしまっている

●子育て支援や子どもが育つ環境づくり

保育所など子育て支援策や子どもの遊び場などの子どもの育つ環境づくりに関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 保育所がない
- ・ 楽しく遊べる公園がない（ボール遊びは禁止、遊具もなく遊べない）
- ・ 中学校の学級が減少

●オールドニュータウン問題

人口減少や高齢者の増加による地域活力の低下や空家の増加などオールドニュータウン問題に関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 人口減少、地域の活力低下、淋しくなる
- ・ 高齢者の増加、地域活力の低下
- ・ 若年層の減少（小、中、幼の存続の難しさ）
- ・ 空家が多く、整備されていない
- ・ グリーンハイツ地区計画の見直し

●住民同士のコミュニケーションの促進

住民同士のつながりが希薄になったり高齢化による担い手の減少などを懸念する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 個人情報の保護で、以前ほど住民がつながることができない
- ・ ぬくもりのある地域の復活（向こう三軒両隣、助け合い）
- ・ 自治会の脱会者が増えている
- ・ 団体の役員や民生委員のなり手の減少
- ・ ゴミ当番がいやなので自治会に入らない
- ・ 助け合い活動の担当者が高齢化により減少している

●犯罪や災害に対する安全・安心

犯罪や災害への対策、交通安全対策など暮らしの安全や安心に関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ パトロールなどしているが、犯罪がなくなるしない
- ・ 空き家の手入れ不足、草が茂り、ゴミが投げ込まれたりしている
- ・ 緊急時の連絡態勢や防災無線、地区放送システム
- ・ 防火水槽の上の有効活用
- ・ 高齢者交通安全の対策（道路の斜め横断など）
- ・ 多田大橋に信号がほしい
- ・ 主要道路に違法駐車が多い（緊急車両が入れないのでは）
- ・ メイン道路の交通量の増加

●日常生活の利便性の向上

買い物、医療、図書館など日常生活の利便性の向上を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者が増えてきているので、24 時間対応の病院がもっと必要
- ・ 産婦人科がない
- ・ コンビニが一軒しかない
- ・ 大きな図書館がほしい
- ・ 150～250 人くらい集合できる設備がほしい

●暮らしのマナーの向上

ペットの飼い方やごみ出しなど暮らしのマナーの向上を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 野良犬猫の増加で近隣トラブルにも
- ・ ペットを飼っている人が異常に増えているがしつけができていない

- ・ 犬猫のフンについて
- ・ 通り抜けの場所でごみの不法投棄
- ・ ゴミ問題置き場所、備え付けの用具統一

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 緑台地区での一方通行に大変困っている
- ・ 緑台公民館の前で高校生が乗り降りするので、朝のラッシュ時に渋滞が起こる
- ・ 高齢者、児童虐待を発見するのが難しい
- ・ 公園の清掃や管理が不十分

4 地域のありたい姿

●緑が多く美しい

公園の緑や草花がたくさんあり、美しいまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 緑がきれいでくつろげ、安心して遊べる公園
- ・ 緑や草花がいっぱいある美しいまち
- ・ いつまでも緑のまちの景観を保っているまち
- ・ ゴミが落ちていない美しいまち
- ・ ゴミの戸前収集を行政が行い、地域の負担が少ないまち

●お互いが気遣い生涯安心して暮らせる

住民同士がお互いに気遣い、ネットワークを大切にし、住みやすくまた生きがいを持って暮らしていけるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ お医者さんに安心してかかる
- ・ 近くの高齢者と楽しく話し合える
- ・ 認知症になっても、安心して暮らせるまち
- ・ 生涯安定して暮らせるまち
- ・ 福祉と配食センターだけでなく、民間の配食活用
- ・ ゆりかごから墓場まで、すべてがまかなえるまち
- ・ 親切 6 分、お節介 4 分で、向こう三軒両隣のまち
- ・ 古来の、伝統的助け合いのシステムの復元

●子どもがのびのび遊べ安心して子育てができる

子どもがのびのびと遊べる環境があり、また安心して子育てができ、若い世代も暮らしやすいまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもは未来の財産だ
- ・ 子どもがのびのび安心して遊べるまち
- ・ 子どもの笑い声が、いつも聞こえるまち
- ・ 子育ての心配なく、安心して暮らせるまち
- ・ 保育所があり若手層が住める（増加する）まち

●世代間の交流があり三世代が心地よく暮らせる

若者から高齢者まで気兼ねなく話せる場所や雰囲気があり、三世代が居心地よく暮らせるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者と子どもの交流
- ・ 若い方が、意見が言える場があるまち
- ・ 昔から暮らしている方の変なルールに縛られないように若い方が上手く暮らせるまち
- ・ どの世代にも、居心地の良いまち
- ・ 働く世代や、子どもも多く、3世代のバランスのとれたまち
- ・ 心かよわせて、住み続けたいまち
- ・ 皆で挨拶し合う、声が響くまち

●安全で安心して暮らせる

パトロールや小さな見守りが行き届いた安全で安心できるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 小さな見守りは、近所で
- ・ 交通事故のないまち
- ・ 災害発生時、避難を知らせる設備、体制があればいい
- ・ 治安の良い安心して暮らせるまち
- ・ パトロールが行き届いているまち

●地域らしい魅力をアピールしていける

地域の自然や行事などを住民が守り、アピールしていけるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ グリーンハイツ音頭を作り、盆踊りに活用する
- ・ ビオトープをモデルとしてつくる
- ・ 病院、銀行のあるまち
- ・ 他者がうらやむまち
- ・ 四季のあるまち、自然のあるまち
- ・ ある程度、雑然とした側面がないとまちの活力は出てこない

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●緑が多く美しいために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
三世代でクリーンアップに参加しよう	●		
緑のパトロールは部会で、高度処理は別部署で	●	●	
公園の清掃を地域でする		●	
過去の計画の見直し		●	
公園の整備を進める	－	－	－
緑を保つための管理をする部署を作って、守る	－	－	－
緑地帯、公園の桜の維持管理	－	－	－

●お互いが気遣い生涯安心して暮らせるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
近隣住民が挨拶しあう	●	●	
参加したことにやりがいなどを付加する（例：防犯パトに社会見学）		●	
回覧板の回数を増やす		●	
大型の介護施設（デイサービス、宿泊可能）の誘致	－	－	－
24 時間訪問介護事務所の設立	－	－	－
在宅介護の施設を増やす	－	－	－
高齢者が在宅での週末を迎える援助と、それを支える施設	－	－	－
元気な高齢者の遊び場と居場所	－	－	－
一人暮らしの高齢者が日常の食事を安心してとれるシステム（給食配食センターの設置）	－	－	－
緑台老人福祉センターの入浴有料化（福祉財源の確保）	－	－	－
認知症サポーターから見守りシステムの組織	－	－	－
民生委員確保のための処置改善	－	－	－

●子どもがのびのび遊べ安心して子育てができるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
幼保合体が出来ればいい	●	●	●
豊富な人材をさらに有効活用（専門性、ボランティア）	●		
保育所の設置の運動を起こす	●	●	
保育所を作る			●
子ども園の設置			●
空き教室の有効活用（規制緩和）			●

●世代間の交流があり三世代が心地よく暮らせるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
若い人たちにとって何が足りないのか意見を出してもらう	●	●	
近所のグループでもっと関わり合いを	●	●	
地域の行事を学校から若い世代に知らせる		●	
子ども主体の行事計画を立案（子ども達が）		●	
空き家を借り上げて、ふれ合う場を作る		●	●
児童公園を使いやすく、また特色を持たせる		●	●
公園法の改正			●

●安全で安心して暮らせるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
公園の掃除を子ども達も一緒に（親子、若い人、高齢者）	●	●	
子どもを参加させるために親に周知、説明する	●	●	
自主防犯組織の設立		●	
緑台地区の一方通行の緩和をできる部分からやろう（登校時に対応が出来にくい）		●	●
子育てが終わった 60 歳代の居住者に回覧板にて、地域の防犯、防災への参加の呼びかけ（特に男性は、70 歳代ばかりの現状）		●	
商店街の集約と、駐車場の確保から交通安全		●	●
信号を設置する			●
コミュニティーバス	—	—	—

●地域らしい魅力をアピールしていけるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人で できる	地域で できる	行政や他 団体との 連携・協働
自然を活用した行事への参加者を増やす		●	

清和台小・清和台南小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A 班 緑豊かな岩根山、未来に希望をつなぐふるさと清和台

B 班 「絆・和」岩根山に抱かれ人と人がつながるまち

C 班 地域の宝・人・桜 きずなを育む清和台

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●岩根山や桜の風景

散策できる範囲内に岩根山や里山などの自然や桜の風景がたくさんある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 散歩できる範囲に自然がたくさん残されている
- ・ 遊歩道（虫生川）
- ・ 虫生ダムの自然
- ・ 好きな風景岩根山（PR が必要→登山者が道に迷っていた）
- ・ 山あり川あり緑あり、桜の景観（県道沿い、公園、高原寺）が素晴らしい
- ・ 阪神間の他の自治体に比べて空気がきれい

●自治会の活動が活発

地域活動への関心が高く、自治会が様々な活動を展開している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域活動、福祉に関心の高い人が多い
- ・ 自治会館が5つもある
- ・ 太陽光発電の設置（第四自治会館）
- ・ 防犯カメラが多い
- ・ 自治会暮らしのガイド発行（自治会員）

●暮らしに必要な施設が整っている

介護施設やスポーツ公園などの暮らしに必要な施設が整っている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域住民のための公共スペース「友楽園」
- ・ 高齢者介護施設の充実
- ・ スポーツ公園サブグラウンドが広くて使いやすい
- ・ ガーデンモールの医者が若くて人気

●多彩な人材が豊富

地域には多彩な人材が豊富に住んでいる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 童話作家富安先生
- ・ ミュージカル女優秋山なおみさん（劇団四季）
- ・ 黒山けんいち（モトクロス選手）

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 「清和台」という地名（清らかで清潔なイメージ）
- ・ バスが便利
- ・ 兄弟の多い家庭が多い
- ・ 公園が多いので犬を飼う人が増えている

【地域で行われている活動】

高齢者福祉 ・ 高齢者の見守り（毎月、高齢者宅、民生） ・ ボランティア（ひまわり）での高齢者支援（毎月、高齢者宅、福祉＆ボランティア人員） ・ 高齢者（一人暮らし）ほのぼのの会（毎月、自治会館、民生） ・ 配食ボランティア（毎月、福祉、窓口ところ） ・ 相談窓口の当番（毎月毎日、第二自治会館、民生、福祉） ・ 徘徊 SOS での見守り（毎月、民生、福祉他） ・ ボランティア受発信（自治会館、窓口ところ） ・ 65才以上一人暮らしの方への安否電話（自治会館、ところ） ・ 65才以上一人暮らし交流会（民生、児童） ・ 民生委員活動定例会（毎月、各地域会館） ・ 一人暮らし高齢者への赤飯（年1回、民生） ・ 要援護者（200名）支援安否確認（コミュニティ、支援者220名） ・ 一人暮らし高齢者交流活動（年一回、友楽園、ほのぼのの会） ・ ふれあい広場（毎月、友楽園、福祉、民生） ・ いきいき元気クラブ（年6回、自治会間、友楽園、福祉他） ・ 70才以上の方への記念品（文化祭時、福祉）	祭り・伝統文化 ・ 南小文化祭（11月、清和台コミュニティ） ・ 桜祭り（4月、東池公園、コミュニティ、自治会） ・ 納涼祭（7月、中央公園、コミュニティ、自治会） ・ とんど祭り（1月、中央公園、コミュニティ） ・ たこあげ、こままわし（年一回、中央公園） ・ もちつき（12月、ガーデンモール、コミュニティ福祉） 防犯・防災 ・ 年末パトロール（12月末、3日間） ・ 徒歩パトロール（月1回、自治会、コミュニティ） ・ 夕方パトロール（月1回、PTA） ・ 青色パトロール巡回（月～金、清和台コミュニティ、登下校の見守り） ・ 防犯カメラ10カ所設置 ・ センサーライト7箇所設置 ・ 防災訓練（年2回、防災研修、コミュニティ） ・ 防災ガイドブック（コミュニティ） ・ 災害時要援護者支援ネットワーク ・ 自主防災訓練（ピンクレディース）	子ども健全育成 ・ 子ども見守り隊 ・ 子育て支援、子育て広場（毎月、児童、民生、さんりんしゃ） ・ 夏休みプール開放（南小、清小、清和台コミュニティ） ・ ラジオ体操（7～8月、中央公園、コミュニティ） ・ 放課後子ども教室（ほぼ毎日、小学校、地域住民） ・ 学校安全協力員活動（安全協力員） ・ しめ縄づくり（清小） ・ 110番の家 ・ 青少年育成市民会議、パトロール会議（中学校、各小中学校代表） ・ 5校1園祭り（10月、各校PTA（清和台4校＋けやき坂小） ・ 挨拶運動ののぼりと横断幕設置 ・ 子ども会行事への父親参加率が高い ・ 学校図書ボランティア（火、金、小学校図書室、保護者、地域住民） ・ 少年野球、サッカーチーム（コーチは地域の父親） ・ 子ども会行事（高原寺、カウボーイ（英語）、着付、地域の方々の協力） ・ 子ども育成のための講演会 ・ 青少年育成のための広報誌配布（青少年育成市民会議）
世代間交流 ・ ウォークラリー（10月、清和台～けやき地域、コミュニティ体育部会） ・ ハイキング（5月、10月、清和台周辺、コミュニティ体育部会） ・ 春秋スポーツ大会（6月、11月、南小、コミュニティ） ・ 友楽園おひまわり（6月、10月、いきいきげんきクラブ、さんりんしゃ、清和苑交流） ・ 公民館活動（書道、そろばん、ダンス、絵画、子育てサークル等） ・ ところの居場所ふれあいサロン（毎月第1水曜日、友楽園、三世代交流（子どもは春夏秋冬））	地域の美化・緑化 ・ 植樹（おたふくなんてん3カ所、県道2カ所、ファミール） ・ クリーンアップ大作戦（5月、11月、各地区コミュニティ） ・ 資源回収（個別回収、自治会、PTA） ・ 北谷公園の清掃活動（毎月、ボランティア、地域住民の方） ・ 公園管理（毎月、全公園、自治会環境） ・ 石道地区のホタルの保護（清和台住民）	その他 ・ ブロック会議（年2回） ・ 自主資源回収 ・ 障がい者福祉 NPO 法人活動
	助け合い ・ 相談窓口「ところ」（毎日（土日除く）、第二自治会館、民生、福祉） ・ 心の居場所（有楽園、月1回、水曜日） ・ 助け合いネットワークボランティア活動（毎日、第二自治会館、福祉） ・ 福祉ネットワーク会議（隔月、第二自治会館、各地域代表者）	

3 地域の課題

●地域活動の担い手不足

自治会の加入率の低下や地域活動の担い手不足についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 若い世代の自治会退会
- ・ 個人主義の傾向があり、非自治会員の増加
- ・ 最近の傾向としてクリーンアップ活動に協力する人が少なくなっている
- ・ 高齢化で役員のなり手が少ない
- ・ 地域活動は女性为中心、男性の活動が少ない
- ・ ボランティア活動の助成や人員が少ない
- ・ 民生委員の選出が大変

●近所付き合いやコミュニケーション

近所付き合いやコミュニケーションの希薄化を懸念する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 核家族化で隣近所の付き合いが少なくなっている
- ・ 大人も子どもも「あいさつ」の向上

●高齢者や障がい者の暮らしの支援

高齢者や障がい者などの生活弱者の暮らしの支援についての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者介護タクシー、要支援2は使えない
- ・ 一人暮らしの人々への関心がない
- ・ 高齢者のおしゃべりの場所が欲しい（空き家の利用）
- ・ 高齢者の居場所づくり（老人クラブへの勧誘）
- ・ 障がい者との交流がもっと多くなれば良い
- ・ 地域の障がい者に対する理解
- ・ 障がい者、特に知的障がい者、精神障がい者への助成が少ない

●子どもの居場所や子育て支援

子どもたちの居場所や遊び場、学校の環境改善、子育て支援などについての意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 小学校、中学校のトイレの改善
- ・ 学校の施設の整備
- ・ 子ども会の会員不足
- ・ 働くお母さんのためのサポート（保育所）
- ・ 子どもの居場所（放課後、休日に気軽に行ける場所が欲しい）

- ・ 子どもが集まって遊べる公園が少ない
- ・ 子どもたちが安全におもいきり遊べる施設、場所がない

●暮らしの快適性の向上

買い物や医療施設、公共交通、道路、大規模な公園など暮らしの快適性の向上を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 病院（耳鼻科）が欲しい
- ・ 総合病院の誘致（市民病院までは時間がかかる）
- ・ 車がなくても住める町に（食、病院等）
- ・ 車がない人（特に高齢者）にとって、食品以外の生活用品を買いにいく場所がない
- ・ 東西道路（公共交通の整備）
- ・ バス路線の整備、定時運行の確保
- ・ バス停が遠い
- ・ 大きなスーパーがないので品数が少ない
- ・ 文房具を扱う店が近くに欲しい
- ・ 文教のまち清和台のために本屋さんを
- ・ 快適なショッピングセンター（質の高い店、レストランが欲しい）
- ・ 有馬富士公園や昆陽池のような場所が少ない（ドラゴンランドだけ）
- ・ ガーデンモールの建物は使いにくい
- ・ 不活発な商店街がある

●交通安全や防犯性の向上

地域内の交通安全や防犯性についての不安や向上を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域が県道により東西に分断されており交通事故も多い
- ・ 郵便局前中央幹線道路の一方通行に車が逆走して危険
- ・ 新名神完成後に交通量が増加するのではないかと不安
- ・ 夜間の公園の治安（夜中に不良が集まる）
- ・ 夜帰宅するとき街灯が少なく、暗い場所が多い
- ・ 空き宅地、空き家の対策（条例等）

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 中央公園の便所が汚い
- ・ ゴミを集める回収車の対応（回収時間がバラバラ、運転が荒い）
- ・ 働く場所が地域に少ない

- ・ 若い世代が住みにくい、入ってきにくい

4 地域のありたい姿

●岩根山に抱かれた自然豊かで癒されるまち

岩根山に抱かれ、地域の宝である桜と緑が守られた自然豊かで癒されるまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自然豊かで緑が多い街
- ・ 花のいっぱい咲き誇る街
- ・ 空気がきれいなまち
- ・ 桜の老木を保護、維持し、桜の季節には各公園で子どもも大人も楽しめる
- ・ 虫生ダム周辺に遊歩道があって、楽しめる環境
- ・ 自然に囲まれた公園で、ゆっくりしたい
- ・ 岩根山を整備し、公園を作るなどして清和台のシンボルにしたい
- ・ 周辺の里山に気軽に行き来できる街
- ・ 愛犬にとって散歩場所が沢山ある

●誰とでも気軽に声を掛け合え世代を超えた交流がある

誰とでも気軽に声を掛け合え世代を超えた交流があり、みんなで支え合う絆を育むまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ ご近所が仲の良い街
- ・ 三世代が交流できるまちづくり
- ・ 挨拶が絶えない明るい街
- ・ 高齢者にとって住みやすい街
- ・ お年寄り、大人達が元気の街
- ・ 高齢者がいつでも立ち寄れる交流できる居場所
- ・ 子どもや老人に優しい街（困っているときに積極的に支援）
- ・ 子ども達の声がもっと聞こえる街
- ・ 子ども達の縦のつながりがある街
- ・ シルバータウンにならない為に、若い世代が入居してくる街
- ・ 若い世代のお母さん達と食事を作って、情報交換できたらよい
- ・ 昔あった、近所の子ども達とのミニ運動会がまたできたらいい
- ・ 親子とともにコミュニケーションがとれて、安心して遊ばせることができる遊具のある公園があればよい
- ・ 子ども達や友達同士で、気軽にお茶を飲んでお話ができる場所が欲しい

●自治会の活動が活発で皆の暮らしを支えている

皆が自治会に加入し、活発に活動しながら暮らしを支えているまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 「こころの窓口」を活用できる（みんなが知っている）街
- ・ みんなで悩みを共有できる場所作り
- ・ 清和台自治会は「ひとつ」（東西に分かれることなく）
- ・ 自治会に全員加入してくれる
- ・ 自治会と協力して、問題を解決できる街
- ・ マンションの住人が自治会活動に参加できるようにしたい
- ・ 自治会未加入が少ないので、活動を少しゆめめてあげてほしい
- ・ 第二自治会館を二階建てにして、コミュニティと自治会の総合拠点とする
- ・ 公民館の活用(集まりやすい場所にある)

●安全で安心できる暮らし

防犯、防災、交通安全など安全で安心できる暮らしの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犯罪や交通事故のない安全安心な街
- ・ 子どもが安心して外で遊べる街
- ・ 目が届くところで、子どもが遊べる街
- ・ 夜間でも安心して外出できるように、街灯を明るくして欲しい
- ・ 防犯活動の一環として、門灯を付けてもらう（犯罪抑制）
- ・ 災害時も 1～2 週間は地域内で生活ができる街

●バスと徒歩で便利な暮らし

日常の生活に必要なものがバスと徒歩で行ける範囲にある便利な暮らしの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 歩いていけるとところに買い物ができるお店がある
- ・ 小児科が充実していて欲しい
- ・ 車が無くても住みやすい街(買い物、病院)
- ・ ショッピングや病院に便利な街
- ・ 病気になってもすぐ行ける総合病院の設立
- ・ 高等学校が近くにないので、清和台周辺に一校持ってくる
- ・ （大きな）図書館があれば身近に本に触れられる
- ・ 品数の揃ったスーパーで買い物がしたい
- ・ 活発な商店街のある街

●子どもたちの笑い声や笑顔があふれる元気なまち

元気で健やかな子どもの育成のための場所があり、子どもや若い世代の人たちの笑顔があふれる元気なまちの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもが集まれる子ども会館が欲しい
- ・ 子ども達が公園等で伸び伸び遊べる街
- ・ 子ども達と遊べる公共施設
- ・ 子ども達が快く使用できるトイレがある学校にしたい
- ・ 若い世代がたくさん入ってきて、安心して住める街
- ・ 新婚夫婦が進んでくれるような住みやすいまちづくり
- ・ 家族で楽しく買い物できる施設が欲しい
- ・ 思いっきりスポーツができる場所が欲しい

●マナーを守った心豊かな暮らし

ペットの糞や不法投棄など暮らしのマナーを守った心豊かな暮らしの姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犬の糞害が無い街になってほしい
- ・ 不法投棄が無くなり、ゴミのないきれいな街になってほしい
- ・ 吸い殻の落ちていない街

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●岩根山に抱かれた自然豊かで癒されるまちのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
岩根山の四季を、絵や写真を募って PR する（ポスター、ニュースなど）		●	
標識の整備（登りやすくするため）		●	
みんなで一緒にゴミを拾いながら、山に登りお弁当を食べる		●	
桜の名所案内板を作る		●	
自然、桜の名所等の見所マップを作る		●	
中学校へ岩根山の PR ポスターの作成を依頼する		●	●
水路北側の歩道を利用して植樹できるように考える		●	●
桜の老木診断			●

●誰とでも気軽に声を掛け合え世代を超えた交流があるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
夏休みのラジオ体操への大人の参加を募る	●	●	
自治会員、子ども会会員、ボランティアの人数を増やすためにPR 活動をする	●	●	
小中学校の行事だけでなく、地域参観などにも積極的に参加する	●	●	
“ ところ ” 第二自治会館大ホールを開放して欲しい		●	
子どもたちが主催者のお手伝いができる行事を増やす		●	
老人クラブの活性化（会員のメリットを打ち出す）		●	
働くお母さんのためのサポート（放課後など）		●	
学校内での世代交流をもっと活発にする		●	
買い物ついでにふれあえる空間を作る→ガーデンモールの空き店舗の活用		●	
世代交流会の実施→働く世代と高齢世代		●	
今ある公園を使って、周辺自治会地域でミニ運動会を行う		●	
誰でもが集える場所（会館）の誘致		●	●
公民館の運営管理を地域で実施しては		●	●
「こころの窓口」の PR ポスターとチラシを中学校に依頼し、活動内容も中学校に伝える		●	●
児童との交流イベント		●	●
放課後や休日に（三世代で）集える場所（室内）を設置		●	●
三世代交流ができる「ふれあい給食会」を学校とのコラボで実施		●	●

●自治会の活動が活発で皆の暮らしを支えているために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子どもが主になるイベントをする		●	
親子が参加するイベントを増やす		●	
イベント時のスタッフを公募して、自治会加入のきっかけにする		●	
若い人も参加しやすい自治会システムを作る（役員は時間のある人に）		●	
自治会参画→働く世代の会、意見箱 子ども達を地域の人達の手で見る		●	

●安全で安心できる暮らしのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
食料、水の備蓄	●	●	●
スマートドライバーのステッカーを貼る	●	●	
挨拶と声かけを積極的に行う	●	●	
青パトの運転者及び同乗者の増強→広報で呼びかけを行う	●	●	
朝夕散歩される方にジャンパーを来てもらう（登下校見守り）	●	●	
夜、街灯が無い所への街灯設置、門灯をつけてもらう	●	●	●
空き家に住んでくれる場合に何らかの補助をする		●	●
安全等の充実→暗い所の見直し→太陽光発電灯		●	●
防犯カメラ増設		●	
パトロール車追加 1 台購入		●	●
県道の南北入り口のがたがたの道路を直す			●

●バスと徒歩で便利な暮らしのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
地域内での買い物を個々人が考える	●		
ガーデンモール内で使える券などを出す		●	
住民の声をガーデンモールとオアシスへぶつけて改善を要求する		●	
市民病院へのシャトルバス運行		●	●
小児科、耳鼻咽喉科の誘致		●	●
総合病院の誘致		●	●
病院を回る循環バスを走らせる			●
医療機関の充実→ミニ総合病院			●

●子どもたちの笑い声や笑顔があふれる元気なまちのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
ガーデンモール「商店」活性化、必要な商店アイデア募集		●	
格安で食事ができるファミリーレストランの可能性について地域で考える		●	
自治会と中学校との交流により、中学生と地域のかかわりを話し		●	●

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
あう			
働くママのために保育所開設		●	●
公園に遊具を増やす（子ども向け、高齢者向け）		●	●
公園における高齢者向けの健康遊具を考える		●	●
トイレ改善の要望方法を変えてみる（例えば自治会の課題として 取り上げるなど）		●	●
学校のトイレを明るくきれいにしてもらう			●

●マナーを守った心豊かな暮らしのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
犬の散歩時、ペットボトルに水を用意し、小便に水を撒く（飼い 主の責任）	●		
クリーンアップ以外で住民のゴミ拾い日を決める	●	●	
ゴミのないまち、子供と一緒にゴミ拾いデー		●	
不法投棄対策として、防犯カメラ、看板、センサーライトの設置		●	●

けやき坂小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A 班 鳥がさえずる自然豊かで向こう三軒を大切にすけやき坂

B 班 “おもろ”でつながる坂のまち けやき

C 班 絆むすぶ森 蛍舞う川 笑いころがる坂のまち

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●豊かな自然環境と特産物

里山や小川に囲まれた、豊かな自然環境に恵まれた地域である。また、そのような自然に恵まれた環境であるため、他地域にはない特産物がある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 里山と田園風景が広がる
- ・ 芋生川のホタル
- ・ 鳥の鳴き声で目覚めることができる
- ・ 四季を感じることができる自然環境
- ・ 近くに農地があり、小学生がコメ作りをすることができる
- ・ 若宮の花の栽培
- ・ 芋、栗、松茸、タケノコ、しいたけ

●地域で大切にされる歴史や文化的な取り組み

おもろ座のおもろ能、彫刻プロムナードなど、地域固有の歴史や文化的な取り組みを大切にしている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ おもろ座、おもろ能
- ・ 熊野神社
- ・ 彫刻プロムナード

●公園、緑に恵まれた環境

地域内には公園が多く、沿道の植栽の緑など全体的に緑に恵まれた居住環境となっている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域内には公園が多い（19 か所）
- ・ けやき坂多目的広場
- ・ スポーツ施設が多くある

- 緑地帯が整備されている、街路樹がきれい
- オープンガーデンの取り組み
- 建築協定が締結されている

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- 若い人が暮らしやすい環境（きれいな保育園があること）
- 地域が誇る豊富な人材
- けやき坂小学校のオープン教室

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 ・プール開放（夏休み） ・補導活動、子どもパトロール ・通学路パトロール（月1回、中学PTA） ・集団登下校見守り（毎日、PTA） ・青少年日帰りキャンプ（子ども会） ・デイキャンプ夏休み（青少年委員会） ・おはなしくらぶ（月1回） ・将棋大会（子ども会） ・子育てサロン（毎日、文化児童委員） ・しめ縄作り（年1回、ジョイフルフレンドクラブ+PTA） ・放課後子ども教室（コミュニティ）	祭り・伝統文化 ・おもろ能（10月1日、コミュニティ） ・夏祭り（8月、コミュニティ） ・納涼祭（8月、自治会） ・文化祭（11月、文化委員） ・どんどこ祭（1月15日） ・熊野神社祭（年4回、自治会）	高齢者福祉 ・電話訪問（民生委員） ・高齢者の集い（福祉委員） ・カローリング大会 ・スロージング大会 ・なんでも相談（2ヶ月に1回） ・配食サービス（月～金のAM、福祉委員会） ・ふれあい喫茶の開催（週1回） ・福祉委員会による訪問（月1回） ・男性料理教室 ・喜寿米寿の祝い
地域の緑化 ・さくらさく公園の植樹 ・交流会館のプランタ花植え（美化委員） ・花壇の手入れ（随時）	地域活動	世代間交流 ・体育祭（10月、コミュニティ） ・ラジオ体操（子ども会） ・金時祭 ・ハイキング ・三世代交流キャンプ（年1回、青少年育成委員会） ・映画鑑賞会（交流会会館事業）
地域の美化 ・クリンアップ大作戦 ・草刈（自治会） ・公園清掃（2ヶ月に1回、自治会） ・花壇育成（毎月、公民館使用団体+自治会）	防犯・防災 ・防犯パトロール（青少年育成） ・防災訓練（自主防災） ・青色パトカーパトロール（自治会、コミュニティ） ・夏季パトロール（夏休み中）	その他 ・廃品回収（子ども会、自治会） ・人権啓蒙活動（人権委員） ・ふれあい委員会 ・農業を満喫する朝市 ・特産品の販売

3 地域の課題

●地域コミュニティの強化

地域のコミュニケーション不足、つながりの希薄化などを懸念する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 住民の連帯感や自治会の連携が不足している
- ・ 地域行事に参加する人が減少している
- ・ 自治会を脱会する人、加入しない人が増加している

●農業の担い手育成

自然環境に恵まれ、付近に農地もあるが、農業の担い手（後継者）問題などに対する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 農業の後継者不足
- ・ 不耕作地の増加による地域の自給率の低下が懸念

●交通利便性、買物利便性の向上

バス交通の充実や商業施設の誘致など、交通利便性や買物利便性の向上を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 昼間のバス運行を増便してほしい
- ・ 川西病院への直通バスがほしい
- ・ 近くに住居する場所が少ない
- ・ 高齢者にとって買い物が不便

●地域の安全確保

地域の防犯対策への不安に対する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域内に交番がなく不安を感じることがある
- ・ 空き家が増加し不用心
- ・ 子どもの下校時の見守り（ボランティアの確保が困難）
- ・ 青色パトロール運行が必要

●高齢者支援の充実

高齢者が安心、安全に暮らすことのできる環境づくりを求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者が増加しているわりに高齢者が利用できる施設が少ない（デイサービスなど）

- ・ 坂道が多いので途中で休憩施設（ベンチ等）があれば良い
- ・ 医療施設が少ない
- ・ 子どもも高齢者も利用できる公園がほしい

●子育て環境の充実

子どもが伸び伸びと暮らすことのできる環境づくりが必要という意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもの遊び場が少ない
- ・ 子どもも高齢者も利用できる公園がほしい
- ・ 幼稚園が不足している
- ・ 地域に中学校がない（通学に 40～50 分かかる）

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 鳥獣被害対応（アライグマ、ヌートリア、イノシシなど）
- ・ ゴミ収集場所のカラス被害
- ・ 公園にトイレを設置してほしい
- ・ 障がい者とのつながりががないため支援のしようがない

4 地域のありたい姿

●地域のあたたかさを感じることもできる

地域に笑顔があふれ、笑い声が響き渡るような、住んでいて楽しく、地域のあたたかさを感じることのできるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域の人たちが子どもを見守るまち
- ・ たくさんの友人たちと仲良く話し合うことのできる暮らし
- ・ いつもあいさつや笑顔があふれるまち
- ・ 高齢者が安全、安心に暮らすことができ、寂しさを感じることもないまち
- ・ 自治会同士の連携が密なまち
- ・ 世代間の交流が盛んなまち
- ・ 向こう三軒両隣のコミュニケーションがあるまち

●自然に触れる・親しむ

自然あふれる閑静な住宅街である特徴を生かした、自然に触れ、親しむことのできる暮らしをしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 貸し農園で育てた農作物を食べる暮らし

- ・ 朝、夕に鳥のさえずりを聞くことのできるまち
- ・ 芋生川にホタルが飛び交い、子どもたちが歓声をあげるまち
- ・ ふるさととして子どもの思い出に残るまち

●高齢者が生きがいを感じることができる

高齢者にとって安心、安全で便利に過ごすことができるのはもちろんのこと、楽しく、生きがいを感じることができるようなまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自分が持っている知識や技術が生かせる暮らし
- ・ 老後を楽しく笑って過ごすことができるまち
- ・ 交通利便性、買物利便性に富んだまち
- ・ 高齢者福祉が充実したまち

●歴史や伝統を大切に継承する

地域に受け継がれている歴史や伝統を大切にし、次代につないでいくことができるまちにしたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 納涼祭、おもろ能等の年間を通した祭事を大切にするまち
- ・ 地域の伝統や文化を次世代に継承したいとみんなが思えるまち

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●地域のあたたかさを感じることができるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
多目的広場のイベントを多数企画する		●	
若い人や子どもと一緒にイベントを企画、実施する		●	
子どもを呼び込む企画を検討する (昔遊びを教える、子どもが交代で縁日を開催するなど)		●	
おもろ座で軽音楽をする		●	
親子による地域の清掃活動を実施する		●	
気軽に声がけとあいさつをする	●		
回覧板は声をかけて回す	●		
地域の行事に積極的に参加する(子どもも一緒に)	●		
子ども会によるゴミ出しボランティア(子どもが高齢者を訪ねて ゴミ出しを手伝う)	●	●	
坂の途中に休憩施設(ベンチなど)を設置		●	●
安全灯、信号、防犯、防災活動の充実	●	●	●

●自然に触れる・親しむために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
ホタルのヤゴを川に放流する	－	－	－
清流を守る会を作る		●	
小学校と協力しクリーンアップに取り組む			●
芋生川の清掃活動の実施		●	●
川を汚さない	●		
子どもに農作業をさせる(芋生で既に実施中)	●	●	
ハイキングやスタンプラリーを通して子どもが自然に触れる機 会を作る		●	
種、苗のバンクをつくり公園や歩道の緑化に取り組む		●	

●高齢者が生きがいを感じることができるために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子ども会によるゴミ出しボランティア	●	●	
買い物代行（ヘルパー）		●	
コープによる個別宅配			●
地域に高齢者の憩いの場となるグループホームを作る		●	
地域の人材を活かして子ども達に様々なことを教える場を設ける		●	
人材バンクを作る（シルバー人材センターの地域版）		●	
高齢者が参加しやすい地域行事を増やす		●	
地域内を走る低料金ボランティアバス		●	
デイサービスセンターやリハビリセンターの設置			●

●歴史や伝統を大切に継承するために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
芋生、若宮の歴史を勉強する会等を実施する	●	●	

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
高齢者も子どもも使える遊具を設置	—	—	—
コープの品ぞろえを充実		●	●
清和台中学への通学手段を確保する			●
けやき坂小地区の防災計画を作る	—	—	—

東谷小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A班	豊かな「水と緑」をはぐくみ やさしい絆で結ばれたまち東谷
B班	しあわせいっぱい 夢いっぱい ほほえみ宣言 ひがしたに
C班	自然の恵みが育む 笑顔と絆のまち “東谷”

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●里山、里池、水

黒川は日本一の里山と称されるほど美しい里山である。夏はホタルが飛び、秋には紅葉が見られる、豊かな自然がある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 日本一の里山、黒川
- ・ 菊炭
- ・ 黒川のエドヒガンザクラ
- ・ オオムラサキ
- ・ 大路次川、初谷川の清流
- ・ ホタルが飛んでいる
- ・ 一庫ダムの紅葉
- ・ 大阪と比べ、気温が4～5℃低い(夏は嬉しい)

●深い歴史、伝統のある場所がある

歴史ある寺や神社の他に、城跡や小学校など文化的な遺産も多くある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 古いお寺や神社
- ・ 郷土館
- ・ 各地の青面金剛
- ・ えびす神社での広報
- ・ 山下城跡
- ・ 城山神社での行事
- ・ 黒川小学校(明治37年築造、兵庫県重要景観形成建築物)

●いい人がたくさんいて活力がある

コミュニティを支えるために力を尽くしてくれる人が多いこと、子どもも多く素直である。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ コミュニティ活動が活発
- ・ 地域で頑張っている人が沢山いる
- ・ 子どもが多いこと
- ・ 中学生がおぼこい

●特産品がある

米やしいたけ、栗などの、農産物がある。

- ・ おいしい黒川産米
- ・ 原木しいたけ
- ・ 栗の栽培
- ・ 農業している家が多い

●その他

能勢電鉄が重要な交通手段となっている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 能勢電鉄が地域の重要交通として充実

【地域で行われている活動】

世代間交流 ・ カフェのぞみ(火水金、プラザひがしたに、住民) ・ 介護者の集い(月1回、プラザひがしたに、福祉委員) ・ 障がい者の集い(月1回、プラザひがしたに、福祉委員) ・ ふれあいのもちつき大会(1月、分館駐車場、自治会) ・ 三世代交流会(年1回、小学校、住民) ・ 子ども会と老人会の交流(年1回、自治会館、こども会、老人会) ・ ふれあいカフェ(週3回) ・ 中学校、高校のブラスバンド ・ 幼稚園の地域交流 ・ 福祉と青少年の連携	祭り・伝統文化 ・ 平野神社(春、夏、秋、冬祭り) ・ 夏祭りの伝統 ・ みんなの祭り(見野) ・ 黒川里山まつり(年1回、10月か11月) ・ 山上下財のだんじり ・ 納涼祭(年1回、小学校、東谷コミュニティ) ・ 稲荷法会 ・ とんど祭り(1月15日) ・ 地蔵盆 ・ 体育祭(毎年10月、旧黒川小学校) ・ 文化祭り(毎年10月、旧黒川小学校) ・ 東谷市民体育祭(年1回、東谷小学校、コミュニティ、体育委員)	子ども健全育成 ・ 子ども会 ・ クリスマス会 ・ 子ども安全まもり隊(毎日、通学路、みまもり隊員) ・ 子育て支援の人形劇(東谷公民館) ・ 子育てサポート(月3回) ・ 少年野球活動(土日、東谷小学校、有志) ・ 市民体育祭 ・ 青少年声掛け運動 ・ 里山体験学習(市内小学校16校4年生) ・ 夏休みのプール開放(夏、東谷小学校プール、体育推進委員)
高齢者福祉 ・ 「ほっと・笑」(月1回、民生、自治会役員、福祉委員) ・ 老人会集会(年2回) ・ 配食サービス(月～金、東谷地域、ボランティア) ・ 高齢者サロン(月3回) ・ 独り暮らし高齢者の団体のサポート ・ ふれあいサロン	地域活動	
防犯・防災 ・ 防犯パトロール(不定期、東谷地区、防犯委員) ・ 防犯訓練が活発 ・ 犯罪が少ない	地域の美化・緑化 ・ 子ども会の4公園清掃 ・ 老人会の共同墓、公民館清掃(年2回) ・ 薬師堂の清掃(毎日、地域) ・ クリーンアップ大作戦 ・ 一庫ダムハイキングゴミ拾い ・ 河川清掃(年2回程度) ・ ダリヤ公園の奉仕活動 ・ 資源リサイクル活動(毎月第4木曜日) ・ 歩道側に花木の植栽	その他 ・ 自治会ニュース(2ヶ月に1回、各戸配布、自治会広報) ・ 自治会交流委員会(毎月、自治会館) ・ 一庫マラソン ・ 地域活性化まちづくり推進活動(H18年6月～) ・ 東谷市民ゴルフ大会(年2回)

3 地域の課題

●みんなが関心を持つようなコミュニティに

地域の範囲が広いため、住民全体の一体感が見えにくいとの指摘があった。地域活動への参加者が限定的になってきているため、活動の仲間や後継者をつくっていききたいとの思いが語られた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域が広く自治会も多いため、まとまりにくい
- ・ 住民が自治会やコミュニティに関心がなく、無関心
- ・ 笑顔が少ない
- ・ 若い人たちは自治会に入らない
- ・ 仕事を持つ親が増え、地域での連携を取りづらい
- ・ 自治会活動の参加者が片寄る
- ・ 活動の仲間、後継者をつくりたい

●子どもがのびのび育つ場所の確保

子育て支援をさらに手厚くしていくとの思いの他に、子どもがのびのびと遊ぶ場所が不足しているとの指摘があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子育て世代が多い中、子育て支援の取り組みがまだ不十分
- ・ 子どもの遊び場(ボール遊び)がない
- ・ 野外での遊び場が不足

●もっと福祉を

主に高齢者に対する日ごろからの見守りの充実や、高齢者が集う場所の確保が挙げられた。そのほかに、心のケアについても言及があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 地域内での高齢者の見守り
- ・ 高齢者で集う場所が少ない
- ・ 心の病気の方をどのように支えたらよいのか分からない

●まちづくり、基盤整備

快適な暮らしを送るため、買い物施設や医療施設の充実のほかに、細い道の改善や駅前の整備について指摘があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 買い物に不便
- ・ 買い物に行ける交通手段が欲しい
- ・ 川西病院を支えたい
- ・ 道が狭い(救急車が入れない)

- ・ 山下駅前が未整備(車と人、商店の車)

●美しい地域を保つ

犬や猫の糞を処理するマナーの意識や、豊かな自然環境を大切に感じるような意識の啓発が必要との指摘があった。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 犬の糞で苦情がある
- ・ 田んぼの周りでの犬猫のマナー
- ・ 豊かな自然環境をもっと大切に思う啓発と取り組み

4 地域のありたい姿

●豊かな自然や資源を生かした「東谷ブランド」のあるまち

里山が広がり、空気がおいしく、夜は星とホタルの光が輝く、地域の良さを内外に発信して「東谷ブランド」として確立しているまちの姿が提案された。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 星とホタルの集落ブランドのあるまち
- ・ 自然に恵まれている(里山)、田んぼ、山、川の良さを再発見するまち
- ・ 緑豊かで空気おいしいまち
- ・ 高架下休耕田の利用(ドッグラン)
- ・ お寺、神社の緑の空間を利用
- ・ 郷土館などの施設を活用してイベントなどをする

●みんなが絆で結ばれるまち

体育祭など地域が一つになれるような行事を中心としてコミュニティ活動へ多くの住民が参加し、また、日ごろから新旧に関わらず挨拶等を通じて住民同士が交流する暮らしが提案された。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ コミュニティ活動へのもっと多数の参加
- ・ 体育祭など、東谷が1つになれるイベントができるまち
- ・ 自治会参加率が高く、共通の話題が持てるまち
- ・ 新旧住民が仲良くできるまちづくり
- ・ 隣と仲良く暮らすために挨拶のできるまち

●自分たちでできることは自分たちです活気あるまち

地域で採れるものを使った大衆食堂や、移動手段の確保、地域通貨の運用、介護ビジネスなど、地域でできることをコミュニティビジネスとして興すことで、活気のある地域の姿が提案された。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 地域が運営する大衆食堂があるまち(地産地消)
- ・ 介護を通じて顔見知りと雇用を産むまち
- ・ 地域が運営する交通システムを創る
- ・ 地域の人が運営する農業法人があるまち
- ・ 会社人から社会人に脱皮できるまち
- ・ 地域通貨で地域興し

●子どもたちの笑顔がある暮らし

豊かな自然を生かして身近な場所で子どもが遊ぶことができ、また地域ぐるみで子どもを育てていけるまちの姿が提案された。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 自然が多く、裏山には森があり、子どもが遊べるまち
- ・ 子どもの声が聞こえるまち、安心して遊べるまち
- ・ 子どもの安全見守り隊の活動で、安全なまち
- ・ 仕事をしても安心して子どもが預けられる
- ・ 子どもを地域の方に育てていただけるまち(親の力だけでなく)

●大人、高齢者、障がい者が生き生きと暮らせるまち

地域では、子どもだけでなく大人、高齢者、障がい者も、みんなが安心して暮らすことができ、集まって話すことのできる環境があるまちの姿が提案された。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ 独り暮らしになっても話ができる場所
- ・ お年寄りがゆったり安心して暮らせるまち
- ・ 障がいのある人が働く場のあるまち

●その他

道路は不便でない程度に広く、近所に買い物をする場所があり、住んでいる人同士がマナーよく快適に暮らせるようなまちの姿が提案された。

(懇談会で出た主な意見)

- ・ バリアフリーのまちにしていきたい
- ・ 道路幅も広く、安全なまち
- ・ 駅前の活性化、国道 173 号まで、道路整備
- ・ 歳をとっても買い物に困らない
- ・ 住んでいる人のマナー(環境)がよい

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●豊かな自然や資源を生かした「東谷ブランド」のあるまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
星とホテルで東谷ブランドを作る		●	
黒川に宿泊施設を作って星を見る		●	
東谷の自然環境をよく知る取り組み(鑑賞会)		●	●
自然環境を保護するための組織		●	
初谷川の水辺環境をよく知る取り組み		●	●
初谷川で魚釣りができる	—	—	—
黒川のとり組み支援		●	
黒川に1年中遊べる特区を作る	—	—	—
黒川の黒豆を全国発信して、篠山に行かせない	—	—	—
笹部(城山)、東畦野地域のことをよく知ってもらうイベント	—	—	—
山域の利用(ヒガン桜など自然が多い)	—	—	—
ホテルを育てる	—	—	—
とんど焼きを地域のイベントとしてみんなで楽しく		●	
地域の伝統行事に必ず子どもを参加させる		●	
自然を活かした遊び場の充実(管理できる体制と場所)			●
散歩コースを紹介	—	—	—
お寺、神社の緑の空間を利用	—	—	—
里山を本当に大切にする(企業に利用させない)	—	—	—
地域に親水、木陰のベンチ	—	—	—
黒川の宣伝を全国レベルで進める		●	●

●みんなが絆で結ばれるまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
体育祭、納涼祭の推進		●	
加入率向上の取り組み		●	●
助け合い(見守り)の組織を作ること、自治会員を増やす	—	—	—
地域で郷土館の運営を図る		●	
世代交替、若い人材の発掘、登用		●	
魅力あるイベントの提案	●	●	
リーダーとそれを補佐する人を増やす		●	

評論家はいらない(自分が何ができるか、何をするか)	●		
ニーズ、意見、苦情を把握する		●	
あいさつ、声かけ運動の推進	●	●	
防災訓練が活発		●	
お寺、神社の緑空間の利用	—	—	—
大人数で会議が可能な会館が必要			●
主体となる設備(グラウンドや、人々の集う建物)の新設			●

●自分たちでできることは自分たちでする活気あるまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
雇用の場を地域内に作る		●	
農業生産法人をつくる		●	
地産地消をコンセプトにインターネットで全国発信する		●	
高齢者の働く場の創造(個人の能力の活用、収入の確保)		●	
休耕農地の活用	—	—	—
地域分権について理解を広める	●		
市職員の意識の改革			●
要望型から参加型への市民の意識改革	●	●	
市政情報の積極的な開示と提供			●
市と市民が担う分野について理解を広める			●
リタイアした人の能力の活用	—	—	—
主婦(女性)資源の活用(時間、収入の確保)		●	
既にある人材、活動を掘り起こす		●	
起業するための資金の確保			●
お金に余裕のある人が、時間と知識を提供	●	●	
コミュニティ交通のとり組み		●	●

●子どもたちの笑顔がある暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
子どもの居場所づくり		●	●
親子で一緒にいることができる場所	—	—	—
子育て支援制度の創設（共働きをしやすくするための保育）			●
子どもを預ける場所づくり		●	●
多世代の交流		●	
まもり隊の推進	●	●	
先生も教育委員会も自信(信念)を持って	●	●	●
「大人の責任」次世代に今何をするべきか、できることは即実践	—	—	—
子ども達が地域の自然を理解できる課外活動を増やす		●	●
教育は学校だけでなく地域ぐるみで		●	
空き地などの有効活用(公園、遊び場)		●	●
田んぼや畑で遊べるまち		●	●
地域の中で遊ぶグラウンド、公園の整備			●
小学校のグラウンドの有効活用	—	—	—
見野池の跡地の有効活用		●	
安全な通学路			●
信賞必罰(叱る、ほめる)	●	●	
親の自覚(プライド、恥じらい)	●		
できないことを言うより、できることを考えよう(意識改革)	—	—	—

●大人、高齢者、障がい者が生き生きと暮らせるまち

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
高齢者の居場所づくりの拡充		●	●
多世代の交流	●	●	
高齢者の見守り、安否確認	●	●	●
民生委員、福祉委員ボランティアを増やす		●	●
病院ボランティアに参加	●		
地元の食材を地元で調理する		●	
農協の婦人部に手伝ってもらう		●	
老人の話を聞く会を開催する	—	—	—

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
生活道路の整備			●
消防車が楽に通れるよう、道路を広くする	—	—	—
道路、公園、駅前広場等の整備駅前広場を作り、国道まで車で 行けるようにする			●
山下駅前をロータリーにする			●
坂のあるところ、狭い道を通れる小さなバスを運行する	—	—	—
バリアフリーの推進			●
バス交通の拡充	—	—	—
道路の重要性、土地を持っている人は提供してください			●

牧の台小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

- | | |
|----|--------------------|
| A班 | ゆるキャラが棲むまち 牧の台 |
| B班 | 時空を超えるロマンと輝き 成長する街 |
| C班 | ふる里大和 |
- ～夢と元気のバトンをつなぐ いきいきリレー for the future!!～

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●活発な地域の活動

盆踊り、文化祭、体育祭など多様な地域イベントをはじめ、高齢者福祉等の取り組みも活発に行われており、充実した地域活動が展開されている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 行事が多い（盆踊り、文化祭、体育祭、夢ナリエ）
- ・ 福祉の行事、取り組みが充実。大和チケット（170名登録）
- ・ 子ども会の活動が活発。子ども中心の行事が多く、子育て支援が手厚い

●元気で温かな人

特技を持った人が多く住み、また子どもも高齢者も元気という特徴がある。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもや高齢者が元気
- ・ 子どもが真面目
- ・ 高齢者が子どもに声をかけてくれる
- ・ 豊かな人材、特技を持っている人が多い

●豊かで身近な自然・山

地域に山や池があり、緑や自然を身近に感じながら生活することができる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近くに山があり、朝夕緑を楽しめる
- ・ 大和東3丁目の北側の景色や、池と古代の森の風景

●交通面が便利

能勢電鉄の駅が複数あり、またバスが団地内を巡回している。

（懇談会で出た主な意見）

- 能勢電鉄の駅が、まわりに 5 カ所ある
- バスが巡回している

●資源として活用可能なもの

公園や自治会の図書館など、公共の施設が多く、利用者も多い。会館を利用した活動が活発に展開されている。

（懇談会で出た主な意見）

- テニスコートや学校。公園が多い（10 カ所）
- 大和自治会の図書館（利用登録者数 4,750 名）
- 牧の台会館の利用活動グループが多い（50 グループ）
- 塩川城

【地域で行われている活動】

子ども健全育成 ・ ラジオ体操(2 週間ほど、各公園、子ども会、福祉) ・ 読み聞かせ(月 2 回月曜日、大和図書館、大和図書館、ボランティア) ・ タンポポクラブ (月 4 回、牧の台会館、公園) ・ なかよしクラブ (週 2 回、牧の台幼稚園) ・ ハッピーママサロン(第 2・第 4 月曜日、第 2 自治会館、主任児童委員、民生委員) ・ 牧子クラブ(子ども創作)(年 4・5 回、図書室活動) ・ スポーツクラブ 21 の活動(小学校体育館など) ・ お茶立て体験学習(年 1 回、牧の台会館、青少年育成事業部) ・ 遠足(年 1 回、子ども会) ・ ドッジボール大会(年 1 回、牧小体育館、子ども会) ・ 青少年ふれあいデー関連行事(年 1 回、牧の台会館、青少年育成委員会) ・ キャンドル作り(年 1 回、さくら公園、子ども会) ・ オセロ大会、将棋大会(各年 1 回、自治会館、子ども会) ・ 茶道教室、フラワーアレンジメント教室、小教室、クッキング教室(年数回、第 2 自治会館、子ども会) ・ スカウト活動(毎月 2 回以上、近くの山河川、スカウトリーダー) ・ 文化祭における子どもカーニバル(子ども作品展、紙芝居上映) ・ 七夕祭り、クリスマス会	祭り・伝統文化 ・ 盆踊り(毎年 8 月、平木谷池公園、自治会) ・ 大和秋祭り(秋、平木谷池公園、大和氏子会) ・ 体育祭(毎年 10 月、平木谷池公園、自治会) ・ 大和文化祭(毎年 11 月、牧の台小学校体育館、自治会) ・ 夢ナリエ(さくら公園、畦野駅) ・ とんど祭り(年 1 回、平木谷池公園、自治会、子ども会) ・ 初詣ウォーク(年始、多田神社、コミュニティ) ・ 公園ウォーク(年 1 回、大和地域、コミュニティ、体育部会、福祉会) ・ 囲碁大会(年 1 回、牧の台会館、コミュニティ) ・ まちかどギョーラリー(年末、小学校、商店会) ・ 納涼祭に出店(毎年、平木谷グラウンド、大和商店会)	高齢者福祉 ・ 配食サービス(月～金、第 2 自治会館、福祉委員会 12 名、ボランティア) ・ 安否確認(随時、福祉委員) ・ 認知症サポーター養成講座(年 1 回、牧小保護者) ・ デイケアサービス(福祉関係企業) ・ 高齢者見守り(福祉委員会) ・ まちの保健室(牧の台会館、コミュニティ) ・ 独居者訪問(毎月 1～2 回、各戸、民生委員) ・ 老人ホーム訪問 ・ 常磐会(65 歳以上、会館、福祉委員会) ・ 福祉ネットワーク会議(大和自治会館、地区内福祉関連団体)
地域の緑化 ・ 牧の台みどりの少年団(毎月第 2 土曜日、黒川地区周辺、大門) ・ 花いちもんめ(草木を育てる)(ボランティアグループ)	地域活動	世代間交流 ・ 三世代交流まつり(年 1 回、平木谷池公園、福祉の方) ・ 早朝健康体操(年 1 回、平木谷グラウンド) ・ オープンカフェ(毎月、第 2 自治会館) ・ 西 5 なかよし会(年 3 回ぐらい、西 5 丁目) ・ 牧の台宴席(年 1 回、コミュニティ子ども会) ・ 親子デイキャンプ(年 1 回、70 人、自治会) ・ 社会見学(年 4 回、社会教養部、自治会と一般参加者) ・ 花見(春、西 5 の森、食事チーム)
地域の美化 ・ クリーンアップ(春と秋、大和全域) ・ グリーンデー(年 2 回、大和地区全域、住民) ・ 公園除草(年 4 回、公園、ボランティア) ・ 清掃活動(10 人、自治体)	防犯・防災 ・ 牧小児童登下校見守り(地域の方、保護者) ・ 防災訓練(不定期、第 5 公園・地域防災会) ・ 青色パトロール(※車で地域を 1 周する)(1 人月 2 回、防犯協会、自治会) ・ 見守りまじょうデー(毎月 15 日、小学校) ・ 防災活動年末 12 月頃、大和商店街) ・ 要援護者安否確認訓練(随時、大和地区内公園、会館、福祉委員会、自治会)	その他 ・ 大和サロンコミュニティスペース事業(随時) ・ 大売り出し(年末、団地内商店会、商店会) ・ 大和チケット(年中、大和団地内、団地住人) ・ 障がい者の会(毎月第 2 日曜、福祉委員会) ・ 福祉相談日(毎月 10 日、15 日、民生、福祉委員) ・ フリーマーケットなどのイベント(年 2 回、個人) ・ 無料配達サービス(毎日、薬局、店員) ・ グループ購入(週 1、コープ)

3 地域の課題

●身近な買い物環境の維持、魅力向上

身近なスーパー等に対する品揃えの充実、店舗への交通手段など買い物環境が充実していないという意見が多数を占めた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ より魅力的な買い物の場になるよう、店舗数や品数が多くなってほしい
- ・ 駅前の商店への車によるアクセスを良くする必要がある

●一人暮らし高齢者の生活、介護者の苦勞

独り暮らしの高齢者の増加に対する懸念、高齢者が集まる場所の提供として活動を行っているがより多くの人に参加してほしいという意見が出た。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 独り暮らしの高齢者が増えており心配
- ・ 小地域活動でお食事会等を開催しているが、参加する人が限られている

●暮らしの中の安全

特に夜間における防犯対策として、防犯灯の設置が必要という意見が出た。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 夜道を歩くときなど怖いので、防犯灯などの設置が必要

●みんなが気持ちよく暮らすためのマナー

自転車の運転の仕方や、ゴミの集積所の管理、犬や猫により発生する迷惑など、身近なマナーについて守られていないという意見が多く出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自転車が速い速度で、ルールを守らず走るの危険。
- ・ ゴミの集積場の管理当番を守らない人がいる。後片付けが遅くまでできない
- ・ 犬や猫による糞の害がある。猪にエサをやる人がいるので出没して危険

●空き家や空き地の管理不足による環境悪化への対策

空き家や空き地があることによる環境悪化に対する不安や、活用する際の障壁などについて意見があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 空き地に雑草が茂り、見た目が気持ちよくないほか、動物が住みつく危険を感じる
- ・ 持ち主が分からないので、管理も有効活用もできない

●その他

施設をより使いこなせるよう、設備を整えてほしいとの意見があった。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 公園のトイレや遊具、会館のエレベーターなどを整備してほしい

4 地域のありたい姿

●地域住民が世代を超えてつながる暮らし

子どもから高齢者までがイベントなどを通じて世代を超えて交流し、近所で仲良くにこやかに生活でき、また困った時には互いに助け合えるような地域にしていきたいという姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもから高齢者まで、四季を通じてイベントに参加し交流できるまち
- ・ 近所で仲良く暮らせ、明るく笑顔でコミュニケーションがとれるまち
- ・ 互いに思いやりがあり、「お互い様」と地域で助け合いができるまち

●高齢者が生活しやすい暮らし

高齢になっても、買い物等で困ることがなく快適に生活でき、またそれを周りの人が見守っているような姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 何歳になっても元気よく、周りの人に見守られながら暮らせるまち
- ・ 高齢者でも買い物に困らず、暮らしやすいまち

●子どもが健やかに育つ暮らし

子育ての先輩が後輩の相談に乗りながら支援し、支援を受けた人は次の世代を支援するような、支援のリレーをしていける姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 安心して子育てができるよう、困ったときには誰かに相談することができるまち
- ・ 先輩ママから後輩ママへ子育て支援のリレーができるまち

●あふれる魅力を発信するまち

買い物の場として魅力的な駅前をつくりだすため、商店と地域住民が一緒になって盛り上げていく姿が提案された。また、地域の魅力をアップして発信していく方向性が話し合われた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 駅前が魅力的な買い物の場所で、地域の内外から人が集まるまち
- ・ 商店だけでなく住民も協力して、一緒に駅前を盛り上げていけるまち
- ・ まちの魅力を向上させて、自慢できるまち

●気持ちのゆとりとやすらぎがある暮らし

自然に囲まれのんびりでき、またマナーを守れるくらいみんなが気持ちにゆとりを持つ生活の姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 周りを取り囲む豊かな自然や緑のある公園で、のんびりできるまち
- ・ 誰もポイ捨てなどをしない、気持ちにゆとりのあるまち

●安全、安心、快適に暮らせる暮らし

必要な整備などを行いながら、安全、安心、快適に生活していける姿が提案された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 夜間の照明、空き地空き家の管理など、様々な課題を解決し、快適に暮らせるまち
- ・ 出かけやすいまち

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●地域住民が世代を超えてつながる暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
笑顔で挨拶や声掛け運動をする	●		
自治会の組織を、向こう三軒両隣のグループに		●	
向こう三軒両隣の話し合い		●	
井戸端会議の奨励		●	
地域のリーダーをつくる		●	
民生委員として今まで以上に見守りを強化する		●	
まちの相談室を作る		●	
地域活動に若い人を当て込む分野をつくる		●	
自治会役員、福祉委員会役員を若い人がやる		●	
三十代が参加をして、楽しめるイベントをする		●	
猪、鹿がでたら見物の情報を流す		●	
空き家を活用し、地域サロンを作る		●	
世代を超えて気軽に集える場所作りや、イベント企画を進める		●	
近くで集まれる場所がほしい		●	

●高齢者が生活しやすい暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
イベントで交流機会をつくる		●	
集える場所（スペース）の確保		●	
健康づくりをかねてウォーキング（散歩）をする		●	
お年寄りの昔の体験談を、子ども達に話す機会をつくる		●	
丁目毎に地域で見守るネットワークをつくる	—	—	—
認知症徘徊防止 SOS ネットワークの確立	—	—	—
1 人ひとりが高齢社会、認知症についての知識を高める	●		
ボランティアのお手伝いが必要	—	—	—
身体が悪くなった時の受け入れ場所が近くに欲しい	—	—	—
若い人の受け入れを積極的に取り組む	—	—	—

●子どもが健やかに育つ暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
子ども達に注意する怖い大人も必要	●		
大人からも積極的に挨拶をする	●		
大和第 2 自治会館で、年寄りと若いミセスの交流のためのふれあい広場の設置	—	—	—
地域で子育てに役立つ情報の共有	—	—	—
今あるグループが連携して子育てシステムを構築	—	—	—
子どもの集まる場所の提供		●	
子ども会で空き地を借りて、野菜をつくる		●	

●魅力的な地域づくりをする暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
川西市の各地域でゆるキャラを作成し、年 1 回きんたくんを議長にサミットを行う			●
太陽光発電を推進し、大和が独自で電力を賄うことで、有名にする			●
イベント等に参加する人は、一人でも誘い合わせて行く	●		
商店街活性化に積極的に取り組む	—	—	—

●気持ちのゆとりとやすらぎがある暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
目につくゴミを拾う	●		
「たばこ」エチケットを住民が守る		●	
自分の家の掃除をするとき、もう少しだけ周辺も清掃する(ま ちがきれいになればポイ捨てをしにくくなる)	●		
月1回公園、みはらし緑地帯の清掃デーを設ける		●	
大和清掃デーに参加する	●		

●安全、安心、快適に暮らせる暮らし

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
隣近所が留守にすると、家を空けるときは積極的に知らせ る		●	
早朝、夜間の散歩者同士が気軽に挨拶できるようにする		●	
大和地域防災計画書を各戸に配布して、安全安心を広める		●	
道路標識やカーブミラーを配置して守る			●
一人ひとりの防犯、防災意識を高め、再確認する	●		

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体と連 携・協働
福祉委員会の小地域活動の回数を増やし、参加を呼びかける		●	
コミュニティバスを走らせる			●
商店を集合して、建物を集約する			●
幼稚園、小学校の頃から、交通マナーを教える(大人になっ てからでは遅い)	—	—	—
地域の交通ルール of 厳守(信号や一時停止)	—	—	—
空き地を利用し、駐車場にする	●		
公園のトイレを洋式にする	—	—	—
以前実験したオンデマンドバスの導入と活用	—	—	—

北陵小地域 地域別懇談会結果

1 地域のキャッチフレーズ

A班 自然と子どもを守りはぐくむ 川西一 夕日のキレイな街 北陵

B班 自然が豊かな

〈ス〉んで良かった

豊かな〈マ〉イライフ

自然が〈イ〉っぱい

〈ル〉すが安心

笑顔の見える街 北陵

C班 北^ほっこり スマイル 彩^{いろどり}のまち

2 地域の資源

【自慢できるヒト・モノ・コト】

●充実している広場や公園

多目的広場や深山池公園など、地域の憩いの場となるパブリックスペースが充実している。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 多目的広場
- ・ 公園が多いこと
- ・ 深山池公園（地域のシンボル）

●恵まれた自然環境

市域の北端に位置することから自然環境に恵まれており、日々の暮らしのなかで美しい夕日やまちへの眺望を堪能することができる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 都会に比べて空気がきれい
- ・ 美しい夕日
- ・ メリハリのある四季など暮らしのなかで自然を感じることができる
- ・ 野鳥やタヌキなど自然動物を目にすることができる

●美しいまちなみ

街路樹をはじめ緑が多く、整備されたグリーンベルトの歩道などまちなみとして整っている。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 街路樹が多い
- ・ 広い歩道、グリーンベルト

●地域に根差して活動する団体

地域スポーツの振興に寄与するスポーツクラブ 21 北陵など、地域に根差して活動している組織が多く存在する。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ スポーツクラブ 21 北陵（クラブハウス）
- ・ 組織的に活動を行う老人クラブ

●公務員が多い地域（行政とつながりの人材が豊富）

警察官や市役所職員など、公務員が多く住んでおり、今後の地域と行政とのつながり（橋渡し役）が期待できる。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 警察官をはじめ公務員が多い

【地域で行われている活動】

世代間交流	子ども健全育成	子ども健全育成
・ グランドゴルフ大会 ・ しめ縄づくり（青少年） ・ 子ども会で行う三世代交流 ・ 昔遊び教室、深山会 ・ スポーツクラブ21北陵 ・ いこいこ北陵（毎週月曜日、北陵集会所、福祉委員会）	・ 北陵子ども大学（放課後こども教室） ・ あいさつ運動（小学校） ・ 自然観察会（黒川・県立公園、年二回）、里山をたずねて自然とふれあう ・ 夏休み自然学校 ・ スポーツクラブ北陵スキーツアー ・ パトロール（月2回） ・ プール開放 ・ ふれあいタイム（小学校での地域参加） ・ 青少年育成キャンプ ・ 子育て支援（月2回） ・ ラジオ体操 ・ 車いす指導（小学校でひまわりが実施）	・ 北陵子ども大学（放課後こども教室） ・ あいさつ運動（小学校） ・ 自然観察会（黒川・県立公園、年二回）、里山をたずねて自然とふれあう ・ 夏休み自然学校 ・ スポーツクラブ北陵スキーツアー ・ パトロール（月2回） ・ プール開放 ・ ふれあいタイム（小学校での地域参加） ・ 青少年育成キャンプ ・ 子育て支援（月2回） ・ ラジオ体操 ・ 車いす指導（小学校でひまわりが実施）
高齢者福祉	地域活動	地域の美化・緑化
・ コミュニティ活動 ・ 相談窓口（月2回第1第3火曜日、福祉委員会） ・ ボランティア「ひまわり」で介護施設の訪問 ・ 高齢者のためのバスツアー（年3回） ・ 高齢者見守り ・ あるけあるけ運動（年6回、深山会） ・ 配食活動（週4回） ・ 誕生会（各月一回、深山会） ・ オレンジネットワーク ・ 高齢者の忘年会、初詣 ・ クラブ活動（深山会、囲碁、グラウンドゴルフ、ハイクینگ、フォークダンス、カラオケ、手芸、麻雀） ・ 映画会（隔月1回、福祉委員会）	・ 下校時パトロールしてくれる人 ・ 自主防災会、もちつき ・ 都心と比べてマナーが良い ・ 自主防災訓練（2月、公民館、自主防災会） ・ 挨拶運動の推進 ・ 児童見守り隊（毎日） ・ 見回り隊（夏と年末、地域全域、防犯委員会）	・ 花いっぱい運動（青少年） ・ 緑（樹木、草花）の多さ ・ クリーンアップ作戦 ・ 県民緑化事業 ・ 放置自転車がなく美しい駅前 ・ 高齢者の公園清掃（年6回）
	防犯・防災	その他
	・ 下校時パトロールしてくれる人 ・ 自主防災会、もちつき ・ 都心と比べてマナーが良い ・ 自主防災訓練（2月、公民館、自主防災会） ・ 挨拶運動の推進 ・ 児童見守り隊（毎日） ・ 見回り隊（夏と年末、地域全域、防犯委員会）	・ コミュニティ活動が活発 ・ 人権講座、講演、啓発（年4～8回）

3 地域の課題

●自治会のあり方を見直す

自治会に加入しない人の増加、自治会役員の高齢化などの問題を抱えており、今後の自治会のあり方に不安を感じるといった意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 自治会に加入しない人の増加
- ・ 自治会役員の高齢化、若者が参加しない
- ・ 自治会の役割が不明確

●地域コミュニティを育む場づくり

老若男女問わず地域の住民が気軽に集える場の必要性に対して意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 広い住宅団地の割に自治会館が少ない
- ・ 車で行かずにすむ集会場が欲しい

●住民のモラルの向上

犬の糞等の始末をきちんとしなかったり、子どものいたずらに無関心であったりと、かつては守られていた公共性が失われている、住民のモラルが低下しているといった意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 犬の糞の始末がされていない
- ・ ゴミを出す時間を守らない
- ・ 子どものいたずらが多い（落書きなど）、それを注意する大人もいない

●子育て環境の充実

子どもがのびのび遊ぶことのできる公園が必要、保育所等の施設の充実など子育て環境の充実を求める意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 子どもがもっと自由に遊ぶことのできる広場等が欲しい
- ・ 一庫公園の駐車台数の増加（遠いから車でないといけませんが、駐車場が少ない）
- ・ 多目的広場をもっと有効活用させて欲しい
- ・ 保育所や幼稚園等の施設を充実させて欲しい

●暮らしの安全・安心・利便性の確保

子どもから高齢者までが安心して暮らせるような環境づくりが必要という意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 近所で買い物ができる環境づくり
- ・ 通学路の安全確保

- ・ 交通マナーの向上（駅前ロータリーの混雑、不法駐車など）
- ・ 通過交通が多く危険
- ・ 駅周辺の安全性の確保
- ・ 夜間照明等の充実（夜に安心して歩くことができるまちづくり）

●交通利便性の充実

坂道が多いため高齢者の移動手段（公共交通）をもっと充実させて欲しいなど、交通利便性の向上に関する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 高齢者の移動手段を充実させる
- ・ 阪急バスの路線の重複（路線の見直し要望）
- ・ 病院までの交通手段の確保

●高齢者の見守り

高齢者の見守りや支援に対する意見が出された。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 民生委員の確保が難しい
- ・ 個人情報保護法により高齢者情報が入手しにくい状況がある
- ・ 高齢化によりゴミ当番など地域活動に十分参加できない人が増えてきている

●その他

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 行政区が混在しているため交流が育みにくい
- ・ 隣接している猪名川町の「ふれあいバス」が利用できない
- ・ 助け合いの会、スマイルの会の充実
- ・ いこいこ北陵の充実
- ・ いこいの家の確保

4 地域のありたい姿

●地域のつながりを育む

多目的広場等を活用したり、地域内であいさつを奨励したりすることで地域のつながりを育んでいきたいという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 多目的広場をみんなの交流の場に
- ・ みんながあいさつをするまち
- ・ 福祉、ふれあいと助け合いがみちあふれるまちづくり
- ・ 住民が集える交流の場所のあるまち

●地域で教育する、見守る（子どもも大人も）

地域と学校の連携、世代を超えた人の関わりなどを通して、地域で子どもを育て、住民のマナー向上に取り組むことができるまちを目指すという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 人づくりと世代を超えた交わりのあるまち
- ・ 福祉、ふれあいと助け合いがみちあふれるまちづくり
- ・ 子どもを注意することができるまち
- ・ 高齢者の自治会活動への参加（負担をかけすぎない役割分担で世代間交流を育む）

●安全、安心、快適なくらし

子どもから高齢者までが安全、安心に暮らすことができ、移動手段などが充実した便利で快適なくらしができるようなまちを目指すという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 弱者（みんな）が安心して暮らすことができる優しいまち
- ・ 子ども、お年寄りの見守りが充実したまち
- ・ 誰もが交通ルールをきちんと守ることができるまち
- ・ 買い物が近所でできるまち
- ・ 子どもが自由に自然とふれあいながら遊ぶことのできる公園があるまち

●美しいまちなみづくり

地域に緑があふれ、道路も広く、車も人も安心して移動できるようなまちなみが美しく、整ったまちを目指すという提案がされた。

（懇談会で出た主な意見）

- ・ 街路樹や植栽帯を大事にするまち
「北陵は良いまち」だと言って貰えるようなまち

5 地域のありたい姿を実現するための取り組み

※「－」 標記は取組主体に関するシールが貼られていないもの

●地域のつながりを育むために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
多目的広場の使い勝手を良くする (車の出入り口を広げる、借りやすくするなど)			●
イベント等で模擬店を増やす(⇒参加者増につなげる)	－	－	－
若者が参加しやすいイベントを企画する	－	－	－
若者にイベント等の企画への参加をよびかける		●	
祭りの予算を増やす		●	
地域に集会所を2カ所以上設置する		●	●
公民館に誰でも参加できる喫茶室を設置する		●	●
いこいこ北陵の充実	●	●	
いこいの家の確保	●	●	●
助け合いの会、スマイルの会の充実		●	●
地域住民の人材バンクの取り組み拡大	●		
転入時の自治会への勧誘として「御近所便利袋」を配布	●	●	
自治会加入によるメリット等のPR		●	
隣近所の把握(自治会班長による)	●		
地域でウォーキング(課題発見等を目的に)	●	●	

●地域で教育する、見守るために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
学校(教師)に対する地域行事への呼びかけ		●	
地域の人が学校行事に参加できるような機会づくり		●	
高齢者と子どもが交流する機会づくり (自治会における役割分担の見直しなど)	－	－	－

●安全・安心・快適なくらしのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
防犯カメラ等の設置		●	●
街灯の設置			●
幼稚園、小学生、高齢者団体向けの安全講習会の開催			●
車のスピード抑制の取り組み		●	●
優先道路の標示			●
信号機の設置			●
市の補助金等の支援			●
保育所の設置			●
バス交通の猪名川町との共同利用			●
団地内におけるふれあいバスの運行		●	●
地域における高齢者の見守り体制づくり	—	—	—
障がい者が生き活きと暮らすことのできる場の提供 (日生中央駅における売店で障がい者の方が販売を行うなど)		●	●
子どもがのびのびと遊ぶことができる公園の整備	—	—	—
多目的広場を地域で管理		●	
ポケットパークの整備		●	●

●美しいまちなみづくりのために

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
深山池公園の活用、使い勝手を良くするなど (遊歩道の整備、ステージの観客席の改修など)		●	●
防犯を意識した樹木の高さの設定			●
自然の保全		●	

●その他

実現に向けた取組	取組主体		
	一人 で できる	地域 で できる	行政や他 団体との 連携・協働
スマイルカードの PR		●	
災害時の雨水利用		●	●

第5次川西市総合計画(地域別構想)

平成 25 年 3 月策定(平成 25 年 5 月発行)

■発 行 川西市
 兵庫県川西市中央町 12 番 1 号

■編 集 総合政策部行政経営室経営改革課
 <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/>

第5次川西市総合計画

地域別構想



この冊子は市役所内で印刷しています。